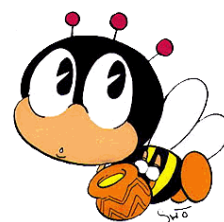
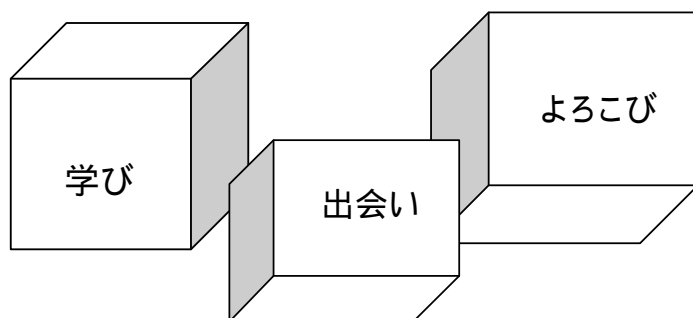


平成24年度

# 事業報告書



「マナビイ」  
生涯学習マスコットマーク



石川県立生涯学習センター

ISHIKAWA PREFECTURAL LIFELONG LEARNING CENTER

## はじめに

若葉が薫るすがすがしい頃となり、平成24年度事業報告書をお届けする季節になりました。皆様には益々ご清祥のことと存じます。

当センターの主要事業である「石川県民大学校」は、平成2年6月の開校から多くの県民の方々のご参加をいただき、平成24年度は209の実施機関により、過去最多の1,054の講座を開講し、修了生は同大学校・大学院を含めて597人を数えております。これもひとえに、講座実施機関をはじめとする関係各位のご理解、ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。今後とも、市町、学校、更に民間教育機関や各種団体との連携をより一層深め、県民の生涯学習ニーズに合った講座の充実に努めてまいりたいと考えております。

さて、当センターで平成22年度からスタートした「あすなる悠々塾」ですが、三年目を迎えた平成24年度には、新たに能登校においても講座を開設し、今まで以上に多様な講座を加え、33講座にまで増やすなど充実に図ってまいりました。生涯学習活動が少子高齢化の進む中で益々大きな役割を担っていくことになるものと思っております。

また今年度から、子どもから大人まで県民一人ひとりがふるさとへの愛着と誇りを持つためのふるさと学習として、「ふるさとモット学び塾」を新たに開講します。「ふるさとふれあい講座」と「ふるさと発見出前講座」の2つがあり、ふれあい講座では、本多の森会場で10講座と5つの現地コースが用意されております。出前講座では、小中学校や公民館などで石川の文化・歴史・自然等をテーマとして実施する予定です。県民の皆様により親しまれる講座になるものと期待しております。

学習情報センターでは、マナビィコーナーにおいて県民の皆様にご覧いただけるよう、作品展示など生涯学習の成果を発表していただいております。更に、県所有の16ミリフィルムに収まっている貴重な映像記録をDVD化し、県民の皆様がいつでも手軽にご覧いただけるようにしております。

この報告書は、平成24年度における当センターの事業実施状況をまとめたものです。巻末には調査研究レポートとして『「県内公民館の事業・運営等に関する実態調査」の調査結果について』の概要を掲載してありますので、併せてご高覧賜れば幸いに存じます。

最後になりましたが、当センターの事業の実施にあたり、ご尽力いただきました関係各機関並びに関係者の皆様方に心から感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご指導とご協力を賜りますようお願いいたします。

平成25年5月

石川県立生涯学習センター  
館長 村澤 勉

# 目 次

生涯学習センター	
1 石川県民大学校	
(1) 石川県民大学校のあゆみとしくみ	3
(2) 石川県民大学校の入校状況	4
(3) 石川県民大学校・大学院修了証書交付式・記念講演会	5
(4) 石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座	6
(5) 石川県民大学校大学院「石川の博士」発表講座	8
(6) 石川県民大学校大学院「石川の博士」論文発表会	8
(7) 石川県民大学校の推移	9
2 講座事業	
(1) いしかわいきいき講座	11
(2) あすなる悠々塾	12
(3) あすなる悠々塾講師養成研修	14
(4) 人権講演会	15
(5) 夏休み子ども映画会	16
(6) 本多の森映画会	16
(7) ～映像で見る～昭和のいしかわ	17
(8) 兼六ビデオ講座	18
3 学習情報・教材提供	
(1) 石川県生涯学習情報提供システム(あいあいネット)	19
(2) 電子メールによる学習情報の配信	19
(3) 生涯学習情報センター	20
(4) 視聴覚ライブラリー	20
(5) 16ミリ映画教材提供	21
(6) 生涯学習センターだより(館報)	22
(7) 県民企画展示マナビコーナー	23
4 指導者養成・研修	
(1) 公民館職員研修(公民館長専門研修・公民館主事専門研修)	24
(2) ファシリテーター養成講座	25
(3) 市町生涯学習担当者基礎研修	26
(4) 16ミリ発声映写機操作技術認定講習会	27
5 マナビフェアin本多の森	28
6 他の機関・団体との主催・共催事業	
(1) 生涯学習振興県民フォーラム	29
(2) 生涯学習・社会教育担当者等研修	30
(3) 教育事務所管内別生涯学習研修会	31
(4) 県民映像カレッジ	32
(5) ICT活用講座	32
(6) 視聴覚セミナー	33
(7) 平成24年度(第43回)いしかわビデオ作品コンクール	34
(8) 視聴覚いしかわ(会報)	35
(9) 自主サークル	35
生涯学習センター能登分室	
1 講座事業	
(1) いしかわを知る講座	36
(2) 能登文化講座	36
(3) 古文書解読入門講座	37
(4) 古文書解読講座	37
(5) 能登陶芸教室	38
(6) あすなる悠々塾in能登	38
(7) 特別記念映画会(シネマ・アフタヌーンin能登)	39
(8) ビデオ教養講座(いしかわの文化を訪ねる)	39
(9) 特別記念子ども映画会(夏休み子ども映画会in能登)	40
(10) 夏休み子ども陶芸教室	40
2 他の機関・団体との共催講座	
(1) 大人の料理教室	41
(2) お菓子づくり教室	41
(3) サンドブラスト体験教室	42
3 能登分室利用状況	43
調査研究レポート	44

# 生涯学習センター

## 1 石川県民大学校

### (1) 石川県民大学校のあゆみとしくみ

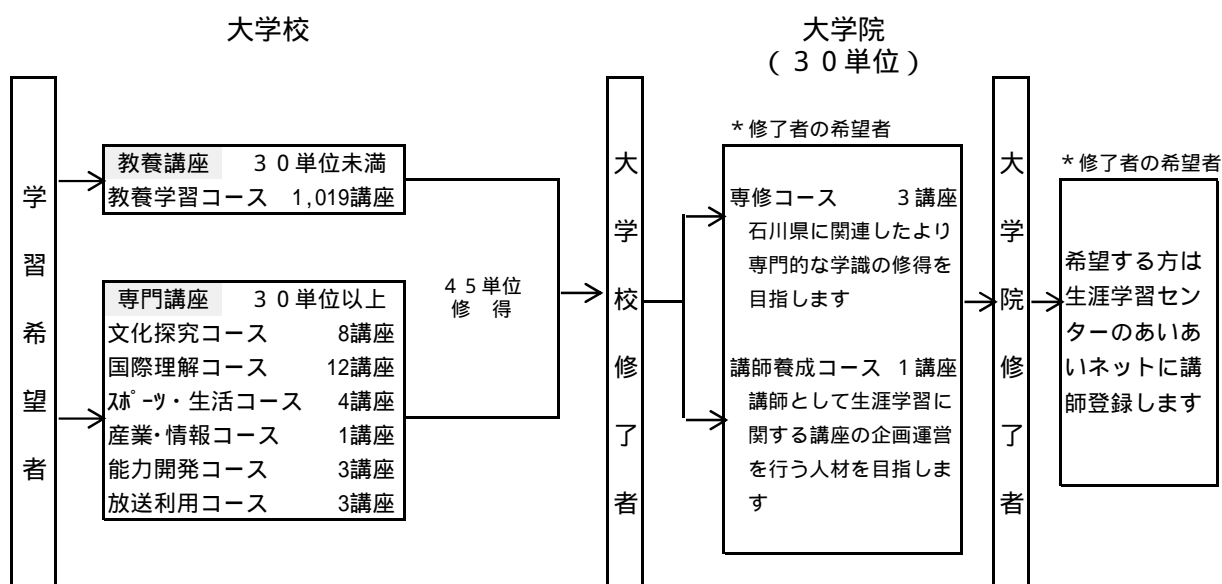
石川県民大学校は平成2年6月に開校し、大学院は平成11年6月に開校。

・講座数の推移

年度	講座数 ( )内専門・大学院講座数	年度	講座数 ( )内専門・大学院講座数
平成 2年	223 (70)	平成22年	944 (37・4)
平成 3年	274 (78)	平成23年	1,021 (34・4)
平成 4年	290 (89)	平成24年	1,054 (31・4)
平成 5年	313 (98)		
平成 6年	321 (103)		
平成 7年	331 (111)		
平成 8年	325 (107)		
平成 9年	332 (117)		
平成10年	330 (126)		
平成11年	485 (121・4)		
平成12年	498 (130・4)		
平成13年	504 (114・4)		
平成14年	582 (114・4)		
平成15年	684 (110・4)		
平成16年	739 (88・4)		
平成17年	815 (54・4)		
平成18年	856 (46・4)		
平成19年	904 (45・4)		
平成20年	897 (39・4)		
平成21年	938 (40・4)		



### ○石川県民大学校入学から修了までのしくみ



## (2)石川県民大学校の入校状況(平成24年度)

表1 講座のコース別開設数及び入校者数

講座	コース名	講座数	入校者数
教養	教養学習	1,019	7,279
専門講座	文化探究	8	347
	国際理解	12	172
	ｽｰﾌﾟ生活	4	0
	産業・情報	1	0
	能力開発	3	78
	放送利用	3	2
	計	31	599
大学院	専修自然・歴史・文学	3	77
	講師養成	1	10
合計		1,054	7,965

表2 地区別入校者割合(%)

地区名	入校者割合
加賀市	0.8
小松市・能美市・能美郡	4.2
白山市・石川郡	10.3
金沢市	68.3
かほく市・河北郡	7.5
羽咋市・羽咋郡	0.6
七尾市・鹿島郡	3.1
輪島市・鳳珠郡	3.0
珠洲市	0.2
不明・県外	2.0
合計	100

表3 年齢・男女別入校者割合

年齢	男(%)	女(%)	合計(%)
19歳以下	0.2	0.2	0.4
20歳～29歳	0.0	0.4	0.4
30歳～39歳	0.4	2.0	2.4
40歳～49歳	1.4	3.7	5.1
50歳～59歳	1.8	5.1	6.9
60歳～69歳	12.5	15.8	28.3
70歳～79歳	13.9	7.9	21.8
80歳以上	3.4	1.6	5.0
不明	13.5	16.2	29.7
合計	47.1	52.9	100

### (3)石川県民大学校・大学院修了証書交付式・記念講演会

#### 趣 旨

石川県民大学校・大学院修了生の努力を讃え、修了証書を交付するとともに、生涯学習に対する県民の意識を高め、学習意欲を喚起する機会とする。

#### 対象・参加者

平成23年度県民大学校・大学院修了生、一般及び講座実施機関の代表者等 220名

#### 会 場

本多の森庁舎会議室

#### 期 日

平成24年6月9日(土) 14:00～16:00

#### 日 程

14:00～14:30	修了証書交付式 平成23年度修了生のうち88名(大学校66名、大学院22名)の方に、谷本正憲学長から修了証書が交付された。
14:40～16:00	記念講演 「鈴木大拙に学ぶ」と題して、鈴木大拙記念館館長 松田章一氏を講師として記念講演が行われた。

#### 事業の評価(成果・課題)

魅力ある石川の文化・歴史・自然等を学んだ方々に、学んだ成果として修了証書を交付することにより、学びの気運に満ちた生涯学習社会づくりへの気運を醸成することができた。

記念講演では、鈴木大拙の哲学の一端に触れることができ、石川の誇る偉人の素晴らしさを実感できた。

#### (4)石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座

##### 趣 旨

石川県に関連したより高度な学識の修得を目指すとともに、自らが講師となり生涯学習に関する各種講座を企画運営できる人材を養成する。

##### 対 象

石川県民大学校の修了生

##### 期 間

平成24年6月9日(土)～平成25年1月26日(土) 各講座30単位

##### 会 場

本多の森庁舎会議室

##### 定 員

講師養成コース 25名

専 修コース 75名 (石川県の自然・歴史・文学、各25名)

##### 修 了

論文や講座企画書の作成を含む所定の単位修得が必要

##### 日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師 名	参加者数
1	6月9日(土) 14:40～16:00	記念講演「鈴木大拙に学ぶ」 (石川県民大学校・大学院修了証書交付式)	鈴木大拙館館長 松田 章一	220人
2	6月12日(火) 13:30～15:30	専修コース文学 「石川ゆかりの女性作家 - 水芦光子を中心に - 」	金沢学院大学文学部准教授 蒔 際子	25人
3	6月13日(水) 13:30～15:30	専修コース歴史 「加賀藩寛永改革と財政機構の確立」	金沢学院大学文学部教授 見瀬 和雄	40人
4	6月15日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 「日本の南限に生育するウミドリ不思議な分布 - 県内の隔離分布する植物たちより - 」	石川植物の会理事 高木 政喜	14人
5	6月19日(火) 13:30～15:30	専修コース文学 「暁鳥敏の『古事記』観・神話観の魅力 - 『古事記』編纂1300 年に寄せて - 」	金沢学院大学文学部教授 山下 久夫	25人
6	6月20日(水) 13:30～15:30	専修コース歴史 「原始古代の墓制について」	金沢学院大学名誉教授 橋本 澄夫	39人
7	6月22日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 「分布を広げる野生動物 - その要因と対策」	石川県立自然史資料館館長 水野 昭憲	17人
8	6月26日(火) 13:30～15:30	専修コース文学 「島田清次郎『地上』と藤澤清造『根津権現裏』を読む - 大正文学の一側面 - 」	金沢学院大学文学部教授 水洞 幸夫	29人
9	6月28日(木) 13:30～15:30	専修コース歴史 「加賀藩に於ける生類憐み令～二藩士関連の二事件に ついて～」	石川郷土史学会常任幹事 加納 嘉津政	54人
10	6月29日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 「石川の風土と歴史を科学する」	金沢大学名誉教授 本浄 高治	32人
11	7月3日(火) 13:30～15:30	専修コース文学 石川の博士による指導	平成23年度 文学コース修了生	7人
12	7月4日(水) 13:30～16:30	専修コース歴史 石川の博士による指導	平成23年度 歴史コース修了生	16人
13	7月6日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 石川の博士による指導	平成23年度 自然コース修了生	3人
14	7月11日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 「石川の公民館と生涯学習」	石川県公民館連合会会長 谷村 昭雄	5人
15	7月18日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 「広報伝達の方法論」	(有)ブレーションオアシス編集長 金子 伸樹	7人

番号	日時	内容(演題)	講師名	参加者数
16	7月25日(水) 13:30～15:10	「石川の博士」発表講座	平成23年度 修了生3名	34人
17	8月7日(火) 13:30～15:30	専修コース文学 論文作成指導	論文指導講師	5人
18	8月8日(水) 13:30～15:30	専修コース文学 論文作成指導	論文指導講師	10人
19	8月10日(金) 13:30～15:30	専修コース文学 論文作成指導	論文指導講師	4人
20	8月22日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 「話すための基本」	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重	7人
21	8月29日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 「スピーチプレゼンテーションの方法」	金城大学短期大学部教授 岡野 絹枝	7人
22	9月28日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 試論指導	論文指導講師	3人
23	10月9日(火) 13:30～15:30	専修コース文学 試論指導	論文指導講師	7人
24	10月10日(水) 13:30～15:30	専修コース文学・歴史 試論指導	論文指導講師	5人
25	10月11日(木) 13:30～15:30	専修コース歴史 試論指導	論文指導講師	2人
26	10月13日(土) 13:30～15:30	専修コース歴史 試論指導	論文指導講師	4人
27	10月24日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 企画書作成指導	金城大学短期大学部教授 岡野 絹枝	2人
28	10月26日(金) 13:30～15:30	専修コース自然 論文指導	論文指導講師	3人
29	11月6日(火) 13:30～15:30	専修コース文学 論文指導	論文指導講師	6人
30	11月7日(水) 13:30～15:30	専修コース歴史 論文指導	論文指導講師	5人
31	11月10日(土) 13:30～15:30	専修コース歴史 論文指導	論文指導講師	2人
32	11月13日(火) 13:30～15:30	専修コース歴史 論文指導	論文指導講師	2人
33	11月14日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 講座企画書作成指導	金城大学短期大学部教授 岡野 絹枝	2人
34	12月5日(水) 13:30～15:30	講師養成コース 企画講座発表会	金城大学短期大学部教授 岡野 絹枝	2人
35	1月26日(土) 13:00～15:40	「石川の博士」論文発表会 記念講演「秋聲文学の魅力」	金沢学院大学文学部教授 秋山 稔	44人
合 計				689人

#### 事業の評価（成果・課題）

講師の先生方のきめ細かい論文指導により、修了生27名の研究成果を「石川の博士」論文集としてまとめることができた。次年度は、受講生がより円滑に論文作成ができるよう、専修コース・講師養成コースの講座内容や指導体制を充実させることとする。

また、一般の方に開放している専修コースの基本講座については、より積極的に広報を行うことにより、受講者数の拡大を図りたい。



(5) 石川県民大学校大学院「石川の博士」発表講座

趣旨

石川県民大学校大学院修了生「石川の博士」に対して講座発表の場を提供し、その学習成果を広く周知するとともに、地域における生涯学習推進者としての人材活用を図る機会とする。

日時

平成24年7月25日(水)13:30～15:10

会場

本多の森庁舎会議室

発表者

平成23年度石川県民大学校大学院修了生「石川の博士」のうち3名

発表内容

平成23年度提出論文に基づいたもの

参加

平成24年度県民大学校大学院受講生及び一般 34名

プログラム

「世界禅者、禅に生きた心豊かな国際人 鈴木大拙」	専修コース(文学) 本道 外喜子
「草木染めの色素についての研究～薄層クロマトグラフィ～ (TLC)による黒百合染めの色素の分析～」	専修コース(自然) 細川 勝正
「パパも変わればママもハッピー & ゆかいな絵本ライブ」	講師養成コース 菅村 美知子

事業の評価(成果・課題)

昨年度大学院を修了した代表者3名による発表は内容・態度ともによかったもので、今年度の大学院受講生にとって大いに参考となるものであった。

(6) 石川県民大学校大学院「石川の博士」論文発表会

趣旨

石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座修了者の代表がその学習成果を発表するとともに、記念講演をとあして県民大学校の大学院の一層の充実を図る。

日時

平成25年1月26日(土)13:00～15:40

会場

本多の森庁舎会議室

対象・参加者

平成24年度石川県民大学校大学院受講生及び一般 44名

日程

13:00～14:30	論文発表 「Waku Waku子育てマナー教室～おこづかいで子供が伸びる！！～」 講師養成コース代表 石川 肇 「石川河川の霞堤」 専修コース自然代表 舟田 静子 「島田清次郎の最終学生の思索」 専修コース文学代表 上野 正明 「加賀藩と菓子文化 - おたま団子のルーツを探る - 」 専修コース歴史代表 水島 堯爾
14:40～15:40	記念講演 「秋聲文学に学ぶ」 金沢学院大学文学部教授 秋山 稔

事業の評価(成果・課題)

今年度大学院を修了者した4名による発表はよくまとまっており好評であった。記念講演も金沢の三文豪のひとり徳田秋聲に関する内容で、講師のわかりやすい話により、秋聲文学への興味・関心がさらに高まった講演となった。

## (7) 石川県民大学校の推移

表1 講座数の推移

(単位:講座)

年 度		H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24
大 学 校	教 養 講 座 計	806	855	854	894	903	983	1,019
	文化探求コース	12	9	9	9	9	9	8
	国際理解コース	12	12	11	11	11	12	12
	スポーツ・生活コース	15	15	12	12	9	4	4
	産業・情報コース	1	1	1	1	2	1	1
	能力開発コース	3	5	3	4	3	5	3
	放送利用コース	3	3	3	3	3	3	3
	専 門 講 座 計	46	45	39	40	37	34	31
	大 学 校 計	852	900	893	934	940	1,017	1,050
大 学 院	専修コース	3	3	3	3	3	3	3
	講師養成コース	1	1	1	1	1	1	1
	石川の博士養成講座 計	4	4	4	4	4	4	4
合 計		856	904	897	938	944	1,021	1,054

表2 実施機関数及び講座数

(単位:機関・講座) 関・講座)

実 施 機 関	年 度	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24
	講座数							
国 立 機 関	機 関 数	3	3	3	3	4	3	5
	講 座 数	46	38	36	56	54	52	39
知 事 部 局 等	機 関 数	37	38	32	33	31	31	30
	講 座 数	171	183	172	182	166	185	187
県 立 学 校	機 関 数	49	51	53	57	54	52	52
	講 座 数	50	52	53	57	55	53	52
県 教 委	機 関 数	13	13	14	13	12	12	12
	講 座 数	184	158	143	155	163	178	186
県 機 関 計	機 関 数	99	102	99	103	97	95	94
	講 座 数	405	393	368	394	384	416	425
市 町 村 教 委	機 関 数	31	39	37	38	34	37	50
	講 座 数	148	157	137	140	127	154	202
各 種 法 人	機 関 数	36	38	38	45	38	38	41
	講 座 数	190	203	232	219	238	272	260
各 種 団 体	機 関 数	15	18	19	25	24	19	19
	講 座 数	67	113	124	129	141	127	128
合 計	機 関 数	184	200	196	214	197	192	209
	講 座 数	856	904	897	938	944	1,021	1,054

表3 入校者数の推移

(単位：人)

年 度		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	合計
大 学 校	教養講座 計	5,947	5,795	7,157	6,974	7,255	6,970	7,279	74,620
	文化探究コース	337	311	307	310	294	299	347	11,848
	国際理解コース	181	170	159	186	121	167	172	8,291
	スポーツ・生活コース	77	64	1	12	20	0	0	8,090
	産業・情報コース	0	3	2	3	8	0	0	4,482
	能力開発コース	71	124	71	113	61	123	78	6,777
	放送利用コース	6	0	4	5	0	4	2	1,449
専門講座 計	672	672	544	629	504	593	599	40,937	
大 学 院	専修コース	112	96	111	80	71	86	77	1,512
	講師養成コース	27	27	23	21	17	15	10	355
	石川の博士養成講座 計	139	123	134	101	88	101	87	1,867
合 計		6,758	6,590	7,835	7,704	7,847	7,664	7,965	117,424

大学校の合計は平成2年度からの累計、大学院の合計は平成11年度からの累計。

表4 修了者数の推移

(単位：人)

年 度		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	合計
大 学 校	教養講座 計	244	317	249	213	204	262	260	2,504
	文化探究コース	175	218	181	197	184	203	190	3,979
	国際理解コース	61	34	50	36	64	42	90	1,792
	スポーツ・生活コース	32	13	1	4	7	1	0	1,739
	産業・情報コース	0	0	1	3	8	7	2	641
	能力開発コース	102	62	75	87	63	20	26	3,596
	放送利用コース	3	0	1	2	1	2	2	44
専門講座 計 (コース重複)	358 (15)	315 (12)	309 (0)	328 (1)	326 (1)	275 (0)	310 (0)	11,199 (592)	
大 学 院	専修コース	27	31	34	17	26	25	25	429
	講師養成コース	9	12	6	6	5	5	2	151
	石川の博士養成講座 計	36	43	40	23	31	30	27	580
合 計		638	675	598	564	561	567	597	14,283

大学校の合計は平成2年度からの累計、大学院の合計は平成11年度からの累計。

表5 年代別修了生数

(単位：人)

大学校(院)	年 代	19歳 以下	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70～ 79	80歳 以上	不明	計
大 学 校	男 性(人)	1	3	2	7	12	65	74	17	68	249
	女 性(人)	1	2	10	20	38	97	50	8	95	321
大 学 院	男 性(人)	0	0	1	2	0	5	9	0	0	17
	女 性(人)	0	0	0	3	2	1	3	1	0	10
合 計	人 数(人)	2	5	13	32	52	168	136	26	163	597
	割 合(%)	0.3	0.8	2.2	5.4	8.7	28.1	22.8	4.4	27.3	100

構成割合については、四捨五入しているため100%にならない場合がある。

## 2 講座事業

### (1) いしかわいきいき講座

#### 趣旨

県内各地の歴史や文化をはじめ、地域の取り組みなどについて大学の講師や専門家から学ぶことでふるさと石川に対する愛着を深め、また、地域における課題や身近な活動への関心を高めるとともに、それらに取り組むことを目指す。

#### 対象・定員

一般 80名

#### 会場

本多の森庁舎会議室

#### 日程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師 名	参加人数
1	9月 6日 (木) 13:30 ~ 14:50	八田與一技師夫妻が築いた石川と台湾の絆	八田技師夫妻を慕い台湾と友好の会世話人代表 中川 外司	92 人
2	9月20日 (木) 13:30 ~ 14:50	東日本大震災から学ぶ石川の地震・津波対策	金沢大学教授 宮島 昌克	75 人
3	9月27日 (木) 13:30 ~ 14:50	改作法～加賀藩の農政改革～	石川県立歴史博物館資料課長 濱岡 伸也	92 人
4	10月12日 (金) 13:30 ~ 14:50	継がれてきた銭五の精神	石川県銭屋五兵衛記念館職員 米田 志津子	91 人
5	10月19日 (金) 13:30 ~ 14:50	金沢、小松、能登などの環境資源を活かした地域協働の活動	金沢大学准教授 松下 重雄	74 人
6	11月 3日 (土) 13:30 ~ 14:50	玉泉院丸庭園造りに関わった人々	石川郷土史学会幹事 横山 方子	83 人
7	11月16日 (金) 13:30 ~ 14:50	世界農業遺産と能登の里山里海	石川県環境部里山創成室専門員 瀬川 徳子	60 人
8	11月30日 (金) 13:30 ~ 14:50	金沢卯辰山麓寺院群の町並みデザイン	金沢美術工芸大学名誉教授 黒川 威人	77 人
合計				644 人

#### 事業の評価(成果・課題)

石川県の歴史や偉人など話題性のある内容により、昨年度よりも参加者が増加し、アンケートでは「満足した・概ね満足した」が約9割を占めるなど好評であった。また、参加者からは講座数の増加や外部での講座実施などの要望があることから、来年度は県民の学習機会をより一層拡充することとする。

(2)あすなる悠々塾

趣 旨

県民の生涯学習支援という観点から、広く一般の方を対象に、生涯学習活動などを通して学んだ成果を生かして講座の講師となる機会を提供し、その成果が社会に生かされることを目指す。

参加対象

一般

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講師名	参加人数
1	6月 6日(水) 13:30～15:30	歴史講座 「私論！謎の消えたピラミッド」	堀川 惇夫	36 人
2	6月 7日(木) 13:30～15:30			29 人
3	6月30日(土) 13:30～15:30	福祉講座 「認知症サポーター養成講座」	竹下 知子	22 人
4	7月 2日(月) 13:30～15:30	人生講座 「障害人生のロマン～戦争体験の語り部として～」	三宅 隆	22 人
5	7月 5日(木) 13:30～15:30	歴史講座 「『ミシャグチ』の神さまとは、どんな神？」	西本宗之助	19 人
6	7月13日(金) 14:00～16:00	歴史講座 「平家と加賀の国の関係」	後藤 朗	35 人
7	7月14日(土) 13:00～14:30	文化講座 「松下幸之助に学ぶ『成功の法則』」	植茶 泰男	48 人
8	7月14日(土) 14:45～16:15	文化講座 「あなたらしさはどんな色？」	岩森 陽子	39 人
9	7月18日(水) 13:30～15:00	人生講座 「わかりやすい遺産相続とハッピーなシニアライフの過ごし方」	菅村美知子	36 人
10	7月19日(木) 13:30～15:00	文化講座 「伝統邦楽超入門～三味線音楽にふれる～」	金田 晃	10 人
11	7月26日(木) 13:30～15:00			8 人
12	7月24日(火) 13:30～15:00	コミュニケーション講座 「相手に響く言葉のチカラ～伝えるから伝わるコミュニケーション～」	宮本美奈子	32 人
13	7月27日(金) 13:30～15:00	防災講座 「防災と災害時の心得」	宮崎 健一	23 人
14	7月28日(土) 13:30～15:00	人生講座 「サリバン先生の実践とヘレン・ケラー女史の金沢来訪」	北村 徹雄	26 人
15	7月28日(土) 15:15～16:30	自然講座 「石川県のエビ・カニ類」	本尾 洋	14 人

番号	日 時	内 容 (演 題)	講師名	参加人数
16	7月29日(日) 13:30～15:00	人生講座 「悲しい戦争」	木村ひろ美	14人
17	10月5日(金) 10:00～12:00	福祉講座 「子育てに活かせるやさしい心理学」	山本 紀子	13人
18	10月15日(月) 13:30～15:30	健康講座 「こちよい生き方」	松本 泰治	18人
19	10月22日(月) 13:30～15:30			18人
20	10月16日(火) 13:30～15:30	健康講座 「健康を守るために、老廃物をとって元気になりましょう！」	今枝 正信	33人
21	10月17日(水) 9:30～11:30	文化講座 「金澤今昔散歩道」	竹下 知子	18人
22	11月3日(土) 10:00～11:30	歴史講座 「加賀路の芭蕉翁」	後藤 朗	38人
23	11月9日(金) 13:30～15:00	歴史講座 「『ミシャグチ』の神さまとは、どんな神？」	西本宗之助	13人
24	11月10日(土) 10:30～11:30	歴史講座 「松尾芭蕉の句碑を訪ねて」	今井 喜江	16人
25	11月10日(土) 13:30～15:30	歴史講座 「加賀藩政期風水害の記録と対策」	前川 哲朗	19人
26	11月13日(火) 13:30～15:00	防災講座 「東日本大震災から学ぶ」	木下 千鶴	14人
27	11月15日(木) 13:30～14:30	健康講座 「糖尿病とつき合う方法」	鈴木 清人	15人
合計				628人

#### 事業の評価(成果・課題)

今年度は講師21名による27講座を開設することができ(昨年度は16名による22講座)、学習成果の発表の機会を拡大することができた。また、受講生も200人余り増加するとともに、受講生アンケートでも9割が満足と回答するなど高い評価を得た。

次年度は、新規講師の開拓、講座内容や運営に関する助言など、講師に対する支援をより一層充実することとする。

(3) あすなる悠々塾講師養成研修

趣 旨

生涯学習活動などを通して学んだ成果を生かして講師となる「あすなる悠々塾」において、次年度の講師とすることができるよう、その資質の向上を目指す。

応募者、修了者

応募者6名、修了者6名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

回	実施日	内 容	講 師 等		参加者
1	7月11日(水) 13:10～15:30	開講式 講師基本1 公民館と生涯学習	石川県公民館連合会会長 谷村 昭雄	選択 1,2 の中 から1つ 選びま す。	4人
2	7月18日(水) 13:30～15:30	講師基本2 広報伝達の方法論	(有)ブレーンオアシス編集長 金子 伸樹		6人
3	8月22日(水) 13:30～15:30	講師基本3 話すための基本	金沢大学教授 浅野 秀重	必修	6人
4	8月29日(水) 13:30～15:30	講師基本4 スピーチプレゼンテーションの 方法	金城大学短期大学部教授 岡野 絹枝	必修	5人
5	10月 5日(金)	あすなる悠々塾②	「子育てに活かせるやさしい心理学」	選択	6人
	10月15日(月) 22日(月)	あすなる悠々塾	「ここちよい生き方」		
	10月16日(火)	あすなる悠々塾	「健康を守るために、老廃物をとって元気 になりましょう！」		
	10月17日(水)	あすなる悠々塾②①	「金澤今昔散歩道」		
	11月 3日(土)	あすなる悠々塾	「加賀路の芭蕉翁」		
	11月 9日(金)	あすなる悠々塾③	「『ミシャグチ』の神さまとは、どんな神？ 」		
	11月10日(土)	あすなる悠々塾④	「松尾芭蕉の句碑を訪ねて」		
		あすなる悠々塾⑤	「加賀藩政期風水害の記録と対策」		
11月13日(火)	あすなる悠々塾⑥	「東日本大震災から学ぶ」			
11月15日(木)	あすなる悠々塾⑦	「糖尿病とつき合う方法」			
6	12月11日(火) 13:30～15:30	企画書発表会		必修	5人

事業の評価(成果・課題)

今年度は、受講生の講座に対する意識が例年以上に高く、企画書の作成・発表も充実したものになった。来年度は、研修内容を再検討し、講師に求められるより実践的な内容となるよう工夫改善していきたい。

#### (4) 人権講演会

##### 趣 旨

著名な講師を招いた人権講演会を実施することにより、一般の方々や公民館職員の人権意識のより一層の高揚を図る。

##### 対象・定員

一般及び公民館職員研修受講者 定員100名

##### 場 所

本多の森庁舎会議室

##### 日 程

日 時	内 容 (演 題)	講 師 名	参加人数
6月 27日 (水) 13:00 ~ 14:30	人権講演会 演 題 「桑田よ清原よ生きる勇気をありがとう」	元PL学園高校野球部員 清水 哲	78人

##### 事業の評価(成果・課題)

頸椎損傷で車いす生活となりながらも全国各地で意欲的に講演活動を続ける講師の話を通じて直接聞くことにより、参加者の人権尊重意識が高まったものと思われる。次年度も人権意識の高揚が図られるような講師の選定に努めたい。



(5) 夏休み子ども映画会

趣 旨

映画鑑賞を通して園児や小学生の心豊かな生活の確立に寄与する。

対象・定員

保育園児、幼稚園児、小学生及び保護者 200名

会 場

石川県立美術館ホール

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	8月2日(木) 13:30～15:10	ぶんぶくちやがま、少年モーグリー、ピーターパン	143人
2	8月3日(金) 13:30～15:10	いじわる狐ランボアの勇気、名犬物語、オズの魔法使い	174人
合計			317人

事業の評価(成果・課題)

市内の児童クラブ、保育園等の団体鑑賞や、親子での多くの参加を得た。特に団体での参加者は、個人で過ごすことの多い夏休みにおいて、団体行動を行う良い機会となっているようである。  
また、臨場感ある大画面での上映は、子どもたちに大変好評であった。  
来年度も多くの参加者が鑑賞しやすいよう、色々な作品の上映を行うとともに、引き続き同会場の利用を検討したい。

(6) 本多の森映画会

趣 旨

視聴覚ライブラリー所蔵の視聴覚教材を活用し、名作映画等を上映することによって、県民に生涯学習の機会を提供するとともに、視聴覚教材の貸出増を図る。

対象・定員

一般県民 100名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	10月 3日(水) 13:00～17:00	晩春	63人
2	10月 4日(木) 13:00～17:00	おくりびと	33人
3	10月 5日(金) 13:00～17:00	風と共に去りぬ	57人
4	11月 3日(土) 10:00～15:30	どんぐりと山猫 / 雪うさぎとこどもたち / 15少年漂流記 黄金花 - 秘すれば花、死すれば蝶 -	33人
合計			186人

事業の評価(成果・課題)

今年度は、往年の名作映画と最近の話題作を取り混ぜての上映となった。中高年世代にとっては、心温まる一時となったようである。  
10月はミュージアムウィークと協賛する形で実施することで、より多くの参加者を得ることができた。今後こういった形での実施を検討していきたい。  
マナビフェアの際は、開催日が祝日だったため児童クラブからの参加が無く(児童クラブは日曜祝日が休みのため)、昨年度に比べ子供向け映画の参加人数が伸び悩むこととなった。

(7) ~映像で見る~ 昭和のいしかわ

趣 旨

生涯学習センターの前身である社会教育センターが昭和48年度から昭和59年度にかけて本県の文化や発展をテーマに自主制作した郷土映画を通して、本県の歩みについて学ぶ。また、これらのフィルム映像はDVDとして再生しており、このDVD活用を広く呼びかける機会とする。

対象・定員

一般県民 30名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	参加人数
1	7月4日(水) 14:00~15:30	加賀獅子頭、まつり(加賀・能登)	20人
2	7月18日(水) 14:00~15:30	紙漉く里、山に生きる	19人
3	9月12日(水) 14:00~15:30	能登上布、くらしの唄	23人
4	9月26日(水) 14:00~15:30	加賀蒔絵、伸びゆく石川-豊かさを築く-	19人
5	11月2日(金) 14:00~14:30	加賀友禅	15人
合計			96人

事業の評価(成果・課題)

当センターが所蔵し、16ミリフィルムをDVDとして再生した本県に関する貴重な記録映像を、県民の方々に鑑賞していただき、DVDの存在を広め本県の歴史・文化について学ぶ機会とすることができた。

なお伝統工芸に関するもの(「加賀獅子頭」、「紙漉く里」、「能登上布」、「加賀蒔絵」、「加賀友禅」)については、生涯学習センタービデオクラブ(SVC)の撮影・編集協力を得て当センターにて現在の様子取材し、5~10分程度にまとめた映像を併せて上映した。作品制作当時と現在の様子の比較対照や、出演著名作家の作品解説等も加わり、本県の伝統工芸についてより深く学んでいただくことが出来た。

(8) 兼六ビデオ講座

趣 旨

石川県立生涯学習センター視聴覚ライブラリーが所蔵するビデオ教材を活用し、映像を通して本県を含め幅広く我が国の歴史や文化について学ぶ機会とする。

対象・定員

一般県民 50名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

番号	日 時	上映ビデオ			参加人数
		いしかわ大百科	国宝・ビデオ古典名作撰	いしかわ人国記	
1	5月16日(水) 14:00～15:30	加賀藩ゆかりの女性シリーズ ～賢夫人・お松の方～	東大寺 大仏と仁王像	天野わか の沈金に生きる	42 人
2	5月30日(水) 14:00～15:30	加賀藩ゆかりの女性シリーズ ～加賀騒動をめぐる女たち～	興福寺・当麻寺 阿修羅像・綴織当麻曼荼羅図	村松標左衛門 学農	40 人
3	6月12日(火) 14:00～15:30	加賀藩ゆかりの女性シリーズ ～加賀生粋の俳人・千代～	薬師寺・唐招提寺 東塔と薬師三尊・金堂と盧舎那仏	細野燕台 雅遊の人	33 人
4	6月26日(火) 14:00～15:30	加賀藩ゆかりの女性シリーズ ～珠姫・豪姫 天下のお興入れ～	東寺 密教の諸尊像	北村喜八 創造	39 人
5	7月11日(水) 14:00～15:30	加賀藩ゆかりの女性シリーズ ～徳田のおりんの夢物語～	神護寺・室生寺 頼朝画像・金堂と五重塔	鶴 彬 反戦の川柳人	33 人
6	8月 8日(水) 14:00～15:30	ふるさと探訪シリーズ 北前船の里・加賀市	中尊寺・富貴寺・浄土寺 金色堂・大堂・浄土堂	小間肅 北陸自由民権の軌跡	38 人
7	8月22日(水) 14:00～15:30	ふるさと探訪シリーズ 小松の歴史 ～北前船と宝物の謎～	伴大納言絵巻 四大絵巻の一つ	中橋久左衛門 農神・用水を辿って	32 人
8	9月 5日(水) 14:00～15:30	ふるさと探訪シリーズ 金沢豪商列伝 ～甞れ！商人魂～	春日大社・熊野速玉大社 神社に奉納された宝物	松本白華 学問に生きた僧	38 人
9	9月19日(水) 14:00～15:30	ふるさと探訪シリーズ 輪島塗と北前船 ～奥能登産業革命～	古今和歌集 最初の勅撰和歌集	表与兵衛 農業発展に尽くす	39 人
10	10月10日(水) 14:00～15:30	ふるさと探訪シリーズ 七尾港今昔 ～幕末から近代へ～	竹取物語 日本最古の物語	長尾巻 祈りと愛の宗教家	34 人
11	10月24日(水) 14:00～15:30	いしかわの文化人シリーズ 大伴家持	万葉集 日本最古の歌集	戸水寛人 バイカル博士	41 人
12	11月 7日(水) 14:00～15:30	いしかわの文化人シリーズ 能順と芭蕉	枕草子 清少納言作の随筆	草深甚四郎 深甚流の剣豪	31 人
13	11月21日(水) 14:00～15:30	いしかわの文化人シリーズ 富田景周	平家物語 中世初期の軍記物語	北出塔次郎 陶芸に新風を	25 人
14	12月 5日(水) 14:00～15:30	いしかわの文化人シリーズ 長谷川等伯	徒然草 兼好作の随筆	米谷義松 地方政治に情熱	32 人
15	7月13日(水) 14:00～15:30	いしかわの文化人シリーズ 折口信夫	奥の細道 松尾芭蕉作の俳諧紀行文	北方心泉 書に捧ぐ	25 人
合計					522 人

事業の評価(成果・課題)

今年度も、県民大学校放送利用講座として過去にテレビ放映された「いしかわ大百科」、及び「いしかわ人国記」を教材として活用した。石川県の歴史を学びたいという県民のニーズに十分応え得る内容であり、受講生からも「今まで知らなかった郷土の歴史を知ることが出来た」「新たな発見があった」等の感想が聞かれ、参加できなかった講座の解説資料を求める受講生もいるなど、大変好評であった。また「国宝」「ビデオ古典名作撰」についても、解説を加えることでより理解しやすくなり、好評であった。当センター視聴覚ライブラリーでは良質のVHS教材を数多く所蔵しているが、VHSを再生出来ずこれらの教材を見ることが出来ない家庭も多くなってきているため、今後もVHS教材を活用した講座を継続し、県民に学ぶ機会を提供していくことが必要と考える。

### 3 学習情報・教材提供

#### (1) 石川県生涯学習情報提供システム(あいあいネット)

##### 業務内容

文化・学習・スポーツなどの活動を行うとき、講座がいつ開かれるか、また講師などを教えて欲しいという県民の要望に応えるため、平成11年4月1日よりインターネット上で一般公開し、生涯学習情報を県民に提供する。

##### 対象

一般県民

##### 運用

サーバーを県庁内ネットワーク管理室に設置して石川県立生涯学習センターと専用回線で接続して、24時間運用している。

##### 提供情報

<データベース> (15,127件)

平成25年3月末現在

ふるさと情報	県内の名所・史跡・名物・祭り・観光コース等	2,515件
視聴覚教材情報	16ミリフィルム・ビデオ教材	10,975件
イベント情報	県内の各種事業・イベント・催し物等	80件
講座案内	県内の各種講座・講演会等	1,017件
講師案内	講演会・学習会等の講師や地域の指導者	540件

##### 利用状況

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
データベース	34,696	44,599	37,472	38,162	41,024

#### (2) 電子メールによる学習情報の配信

##### 業務内容

電子メールを利用して、生涯学習に関する情報を配信する。また、返信のメールにより、学習情報の収集を行う。

##### 対象

県内各市町 生涯学習担当課

##### 運用

センターの担当者から市町の担当者へ電子メールで学習情報を配信する。市町において、公民館等の生涯学習関連施設とネットワークのあるところは、その施設に情報を転送してもらう。今年度は、計6回の配信を行った。

##### 提供情報

生涯学習センターが主催する講座、石川県民大学校の講座、各市町の生涯学習関連事業等の情報を配信した。

(3) 生涯学習情報センター

業務内容

センター内に、視聴覚ライブラリー、県民企画展示コーナー(マナビィコーナー)、生涯学習関係刊行物等の閲覧コーナーを有し、生涯学習に関する情報提供及び学習相談、学習成果のPRを行っている。

対象

地域における社会教育関係団体等の職員及び一般県民

開館日・時間

年末年始を除く毎日 9:00～18:00

場所

石川県立生涯学習センター内(石川県本多の森庁舎2階)

(4) 視聴覚ライブラリー

業務内容

視聴覚教材(16ミリフィルム・ビデオ等)の整備・貸し出しを主な業務とし、映像を通して県民の生涯学習活動の推進を図る。

対象

各市町教育委員会、公民館及び団体等(ビデオ・CD・DVDは個人も対象)

開館日・時間

年末年始を除く毎日 9:00～18:00

場所

石川県立生涯学習センター内(石川県本多の森庁舎2階)

視聴覚教材保有状況

区分	本数 平成23年度末	平成24年度		合計
		購入	寄贈・その他	
16ミリフィルム	1,557本	0本	本	1,557本
ビデオテープ	6,016	0	0	6,016
CD	830	0	0	830
DVD	710	59	355	1,124

利用状況

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数
16ミリフィルム	126	5,563	154	5,757	181	5,666	218	5,252	65	4,209
ビデオテープ	8,951	39,713	8,623	33,026	3,958	21,637	3,322	15,542	1,762	11,081
CD	1,480	3,182	1,301	2,610	668	1,178	863	4,748	501	1,373
DVD	561	3,750	1,165	3,017	1,137	3,495	1,405	10,130	1,025	7,543

(5) 16ミリ映画教材提供

趣 旨

市町教育委員会と連携し、市町の公民館等生涯学習施設において、県立生涯学習センター視聴覚ライブラリーが所蔵する16ミリ映画の上映を行うことにより、幅広く県民の生涯学習活動を支援する。

対象・定員

子ども・一般 定員は各会場による

会 場

- 第1回 浦上公民館(輪島市)
- 第2回 塩屋町公民館(加賀市)
- 第3回 稚松公民館(小松市)
- 第4回 根上総合文化会館(能美市)
- 第5回 町民センターアステラス(宝達志水町)
- 第6回 根上総合文化会館(能美市)
- 第7回 第一生涯学習センター(小松市)
- 第8回 内灘町立図書館(内灘町)
- 第9回 加賀市文化会館(加賀市)
- 第10回 内灘町文化会館(内灘町)

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	参加人数
1	4月11日(水) 13:30～16:00	「そこに愛」「夫と妻の豊かな老後のために」	47人
2	5月18日(金) 13:30～16:00	「翼は心につけて」	31人
3	6月19日(火) 13:30～15:30	「夫と妻の豊かな老後のために」「バス停の座布団」	39人
4	7月19日(木) 13:30～15:30	「あゝ野麦峠」	165人
5	7月25日(水) 14:00～16:00	「太郎が池の夏祭り」「ランボーの嘘」「注文の多い料理店」	65人
6	7月27日(金) 13:30～15:30	「魔女の宅急便」	71人
7	8月9日(木) 13:30～16:00	「魔女の宅急便」	120人
8	8月10日(金) 13:30～16:00	「一休さん」「銀河鉄道999」「太郎が池の夏祭り」	110人
9	8月24日(金) 13:30～16:00	「一休さん」「がんばれスイミー」「よっちゃんの不思議なクレヨン」	30人
10	1月18日(金) 13:30～16:00	「青い山脈'88」	129人
合計			807人

事業の評価(成果・課題)

16ミリは、フィルム、映写機とも貴重な財産であり、使える間に少しでも多くの県民に利用していただくことが重要である。その点、昨年よりも多くの市町と連携して事業が実施できたことは大きな成果であったといえる。

今後、市町の生涯学習活動を支援する視点から、利用申込み期限を設けないなど、柔軟に利便性を向上する事業に工夫していきたい。

(6) 生涯学習センターだより(館報)

発行日・号数	巻 頭 言	「出 会 い」
<p>5月25日</p> <p>第264号</p>	<p>表題</p> <p>「一人一人の学びを地域に発信してみませんか」</p> <p>執筆者</p> <p>石川県教育委員会事務局生涯学習課長 坂 井 芳 子</p>	<p>表題</p> <p>「村人の移住には、神様も移住した？ - フィールドワーク 新しい発見と出会い - 」</p> <p>執筆者</p> <p>あすなる悠々塾講師 西 本 宗之助</p>
<p>10月18日</p> <p>第265号</p>	<p>表題</p> <p>「求められる生涯学習センターを目指して」</p> <p>執筆者</p> <p>石川県立生涯学習センター館長 土 室 完</p>	<p>表題</p> <p>「神話と考古学の接点を探し求めて」</p> <p>執筆者</p> <p>石川県民大学校大学院専修コース (歴史) 修了生 吉 田 和 代</p>

(7) 県民企画展示マナビィコーナー

趣 旨

当センター内に展示コーナーを設け、生涯学習に取り組む県民の学びの成果を披露する場とする。これにより、生涯学習に取り組む人達のさらなる意欲の向上や展示発表を交流の場として活用することで、生涯学習に取り組む人の増加を図る。

対 象

一般県民

日 時

年未年始を除く毎日 9:00～18:00

場 所

石川県立生涯学習センター内(石川県本多の森庁舎2階)

日 程

番号	日 時	内 容	資料提供・展示協力
1	4月2日(月)～4月27日(金) 9:00～18:00	山ほうし会作品展	「山ほうし会」 北陸病院ボランティアの会
2	5月2日(水)～5月27日(日) 9:00～18:00	くるみ書道会展	玄土社 青山書会
3	6月1日(金)～6月30日(土) 9:00～18:00	第23回牛歩会篆刻展	鶴峰会
4	7月1日(日)～7月29日(日) 9:00～18:00	手づくり竹灯籠の展示	金沢シルバー人材センター
5	7月30日(日)～8月20日(月) 9:00～18:00	故山本秀雄氏のケナフ和紙展	とんぼ農園 大道塾
6	9月4日(火)～9月28日(金) 9:00～18:00	伊戸川和子作品展	伊戸川 和子
7	10月3日(月)～10月21日(日) 9:00～18:00	日本の凧	日本海内灘砂丘凧の会
8	11月1日(木)～11月30日(金) 9:00～18:00	第32回石川県児童生徒俳句大会入選作品展	石川県俳文学協会 児童生徒俳句委員会
9	12月1日(土)～12月27日(木) 9:00～18:00	鶴峰会陶芸作品展	鶴峰会
10	1月7日(月)～1月30日(水) 9:00～18:00	木版画展	山崎 文子
11	2月1日(金)～2月28日(木) 9:00～18:00	北斎、広重、歌麿にみせられて!	笠島 信夫
12	3月1日(金)～3月10日(日) 9:00～18:00	平成25年度石川県民大学校ポスター等図案作品展	石川県民大学校事務局

事業の評価(成果・課題)

個人や団体の学習活動の成果を広く県民に紹介する場として利用されている。今年度は、篆刻、陶芸、水墨画、絵画、写真など幅広い分野にわたる展示が行われ、多くの人々に生涯学習について知ってもらえる良い機会となった。今後も、県民がより気軽に利用できるよう展示コーナーの運営に努めるとともに、PRの方法についても検討していきたい。



#### 4 指導者養成・研修

##### (1) 公民館職員研修(公民館長専門研修・公民館主事専門研修)

###### 趣 旨

生涯学習時代の拠点としての公民館の経営並びに事業に関する専門的な知識及び技術の修得を図る。

###### 対象・定員

公民館長及び公民館主事等 40名

###### 場 所

本多の森庁舎会議室、石川県行政庁舎

###### 日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師 名	参加人数
1	6月5日(火) 10:00～12:00	住民の協働を促進する学習プログラムの開発	石川県立大学准教授 桑村 佐和子	30
	13:00～16:00			
2	6月11日(月) 10:00～12:00	時代の要請に応える公民館を目指して	石川県公民館連合会会長 谷村 昭雄	27
	13:00～16:00	リアル熟議 「これでいいのか!公民館」	石川県公民館連合会会長 谷村 昭雄 石川県立大学准教授 桑村 佐和子	27
3	6月21日(木) 10:00～12:00	公民館内外で活用できるアイスブレイク	石川県レクリエーション協会常任講師 畠 紀子	29
	13:00～16:00	災害時での公民館の役割～避難所運営を中心を考える～	金沢市新神田公民館長 畑下 勲	29
4	6月27日(水) 10:00～12:00	公民館活動の現状	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重	28
	13:00～14:30	人権講演会 「桑田よ清原よ生きる勇気をありがとう」	元PL学園高校野球部員 清水 哲	60
	14:40～16:10	公民館と地域防災の係わり	金沢市新神田校下防災対策委員会副会長 畑下 勲	28
5	7月4日(水) 10:00～12:00	講演「学びによる絆づくりと社会教育職員の働	奈良市生涯学習財団職員 佐野 万里子	35
	13:00～16:00	リアル熟議「絆づくりと活力あるコミュニティの形成に向けて」		
6	7月12日(木) 10:00～12:00	住民ニーズ・地域課題への対応と公民館が果たすべき役割のワークショップ	杉原企画代表 杉原 美佐子	25
	13:00～16:00			
合 計				318人

(注) 6月27日(水)の「人権講演会」は一般聴講者32人を含む。(公民館職員は28人)

7月4日(水)は生涯学習・社会教育担当者等9人を含む。(公民館職員は26人)

###### 事業の評価(成果・課題)

北は珠洲市から、南は加賀市まで県下の9市町から37名の公民館職員が参加し、館長16名、主事等14名が修了することができた。

公民館職員研修は、これまで基礎研修と専門研修を隔年で実施していたが、毎年新任職員がいることから、来年度以降は基礎研修を毎年開催できるよう研修の在り方を改善することとする。

## (2) ファシリテーター養成講座

### 趣 旨

地域や職場等で直面している問題に取り組むため、地域で活動されている方、市町職員、公民館職員、NPO職員等にファシリテーターとしての知識及び技能の修得を図る。

### 参加対象・定員

市町職員、公民館職員、NPO職員及び一般  
【入門編】40名 【応用編】30名

### 会 場

本多の森庁舎会議室

### 日 程

#### 【入門編】

番号	日 時	内 容	講 師 名	参加人数	
1	7月 9日(月)	10:00～16:00	入門講座	発創デザイン研究室代表 富永 良史	44 人
2	7月10日(火)	10:00～16:00	入門講座	発創デザイン研究室代表 富永 良史	44 人
3	7月21日(土)	13:30～16:00	修了生実践事例紹介	能登島公民館 谷内 玲香 能美市職員 村本 志朗 県立図書館 今井 和愛	33 人
合 計				121 人	

#### 【応用編】

番号	日 時	内 容	講 師 名	参加人数	
1	9月10日(月)	10:00～16:00	応用講座	発創デザイン研究室代表 富永 良史	28 人
2	9月11日(火)	10:00～16:00	応用講座	発創デザイン研究室代表 富永 良史	27 人
3	9月24日(月)	13:30～16:00	実地体験計画	生涯学習センター職員	25 人
4	9月25日(火) ～11月22日(木)		実地体験(各自)		26 人
5	12月 4日(火)	13:30～16:10	実地体験報告会 修了式	発創デザイン研究室代表 富永 良史	23 人
合 計				129 人	

### 事業の評価(成果・課題)

今年度は、より多くの方に「ファシリテーター」について理解していただけるように、入門編と応用編に分けて実施した。このことにより、基礎的な内容を中心とした入門編には44名の方が受講し、より専門的で実践的な内容である応用編には28名が受講した。講師のわかりやすい話し方や進め方により大変好評であることから、来年度も同じ講師で本講座を継続して開催することとする。

### (3)市町生涯学習担当者基礎研修

#### 趣 旨

今年度、市町の生涯学習担当課、市町生涯学習施設、県生涯学習課、県立生涯学習センター等の職員になった者を対象に、生涯学習に関する行政や事業を推進する上で必要な基礎的知識の習得を図る。

#### 対 象

市町生涯学習担当課、市町生涯学習施設、県生涯学習課、県立生涯学習センター等の1年目の職員、若しくはそれに準じる者及び希望者で原則として2日間受講できる者

#### 会 場

本多の森庁舎会議室

#### 参加者

30名

#### 内 容

日時	内容等
5月15日(火) 10:00～	開講式
10:10～12:00	「生涯学習・社会教育入門」 金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重
13:00～16:00	「生涯学習・社会教育担当となって、感じたこと、気づいたこと」 石川県立大学教養教育センター准教授 桑村 佐和子
5月16日(水) 10:00～10:50	「公民館と生涯学習」 石川県公民館連合会会長 谷村 昭雄
11:00～12:00	「石川県の生涯学習の施策」 石川県生涯学習課課参事 紺村 和也 「県立生涯学習センターの紹介」 石川県立生涯学習センター担当課長 竹林 義隆
13:00～13:30	「公民館活動について」 羽咋市千里浜公民館主事 中山 和子
13:30～14:30	「市町の生涯学習担当課の仕事とは」 白山市生涯学習課主事 田辺 詠一 金沢市生涯学習課担当課長 中村 信治
14:40～16:00	「今後の取り組みに向け」 石川県立生涯学習センター職員
16:00～	閉講式

#### 事業の評価(成果・課題)

今年度は、現場で役立つより実践的な内容を多くしたことにより、参加者からは好評であった。来年度も、生涯学習担当職員にとって、より実践的な研修内容を取り入れるよう工夫に努めたい。

#### (4) 16ミリ発声映写機操作技術認定講習会

##### 趣 旨

学習教材としての16ミリフィルムの活用活性化を図るとともに、フィルムの保全のために、正しい映写技術の普及に努める。

##### 対 象

一般県民 随時受付

##### 会 場

石川県立生涯学習センター

##### 内 容

16ミリ発声映写機操作技術認定 講習(学科、実技)

##### 講 師

石川県立生涯学習センター職員

##### 日 程

番号	日 時	時 間	参加人数
1	4月24日(火)	10:00 ~ 12:00	4人
2	7月9日(月)	10:00 ~ 12:00	1人
3	8月30日(木)	10:00 ~ 12:00	1人
4	11月26日(月)	10:00 ~ 12:00	2人
合 計			8人

##### 事業の評価(成果・課題)

講習日を限定せず、受講希望者の日程に合わせて講習会を実施している。16ミリ映画の需要拡大のためにも、今後も講習実施の周知に努めたい。

## 5 マナビフェアin本多の森

### 趣旨

いしかわ教育ウィーク(11月1日～7日)に合わせ、生涯学習に関する県民の理解を深め、生涯学び続ける気運を高める。

### 主催/会場

石川県立生涯学習センター/石川県本多の森庁舎会議室・生涯学習センター

### 内容

	講座・時間	対象・定員	会場	内容	参加数
11月2日(金)	ひろさか緑陰講座 13:30～14:30	一般・30名	県民大学校 教室1	大塚吉江氏による講演「認知症現場の今」	22人
	ひろさか緑陰講座 13:30～15:40	一般・30名	県民大学校 教室1	北村秀昭氏による講演「白山手取川ジオパークって何だろう」	23人
	～映像で見る～ 昭和のいしかわ 14:00～14:30	一般・80名	第3会議室	記録映画「加賀友禅」の上映	15人
	あすなる悠々塾 10:00～11:30	一般・70名	第2会議室	後藤朗氏による講演「加賀路の芭蕉翁」	38人
11月3日(土)	本多の森映画会 10:00～12:00	子ども・80名 (大人も可)	第3会議室	「どんぐりと山猫」「雪うさぎとこどもたち」「15少年漂流記」の上映	18人
	ものづくり教室 10:00～12:00	親子・40人	県民大学校 教室1	生涯学習インストラクターの会金沢支部によるドリームキャッチャーづくり	22人
	ビデオ作品上映会 10:00～12:00	一般・20名	県民大学校 教室2	生涯学習センタービデオクラブによるビデオ作品の上映会	30人
	いしかわいきいき講座 13:30～14:50	一般・150名	第2会議室	横山方子氏による講演「玉泉院丸庭園造りに関わった人々」	83人
	本多の森映画会 13:30～15:30	一般・20名	第3会議室	「黄金花」の上映	15人
	わら細工体験 13:30～15:30	親子・40人	県民大学校 教室1	白山ろく民族資料館によるわら細工体験	4人
	「生涯学習に関する作品展」				
両日とも	1階ロビー 出展団体：小立野・新竪町・田上の3公民館、自然史資料館、金沢港大野からくり記念館、白山ろく民俗資料館、生涯学習インストラクターの会金沢支部、金沢辰巳丘高校、明和特別支援学校 実演団体：金沢港大野からくり記念館(からくり人形)、金沢辰巳丘高校(似顔絵) 販売団体：明和特別支援学校(木工品、お菓子、ジャム等) その他：県民大学校及び能登分室に関する紹介パネル				1510人
	2階マナビコーナー 出展作品：「第32回児童生徒俳句大会入選作品展」「竹灯籠作品展」「陶芸作品展」				230人

### 事業の評価(成果・課題)

一昨年度まで石川県広坂庁舎に事務局を置く社会教育関係諸団体との共同開催で行われていた事業である。本多の森庁舎においての単独開催2回目である。隣接の本多の森ホールも催し物があり、相乗効果で2日間で1700名を超える来館者があり盛況であった。今年度は、石川県民大学校実施機関との連携を深める中で、展示・実演・販売等で工夫があり効果があった。今後継続していくことにより広く県民に生涯学習センターの取り組みについて広報していくことが大切である。

## 6 他の機関・団体との主催・共催事業

### (1) 生涯学習振興県民フォーラム

#### 趣 旨

県内の社会教育・学校教育等の行政・教員・民間・NPO等の関係者が集い、「青少年の問題行動とどう向き合うか～学校や地域の役割～」をテーマに、実践を交流し、課題と展望を共有し、併せて取組の意義を確認し合う場として実施し、『石川県の教育振興計画』がめざす、学校・家庭・地域が連携・協力し、社会全体で教育力の向上を図る契機とする。

#### 主 催

金沢大学社会教育研究振興会、金沢大学地域連携推進センター、石川県教育委員会

#### 対象・定員

一般、県市町・学校・民間・NPO団体等関係者

#### 会 場

石川県行政庁舎 1105会議室

#### 参加者数

130名

#### 日 程

日 時	内 容	講 師 等
1月29日(火) 13:15～13:20	開会挨拶	石川県教育委員会生涯学習課課長 坂井 芳子
13:20～14:20	基調講演 「青少年の問題行動とどう向き合うか」	金沢大学人間社会研究域人間科学系准教授 原田 克己
14:30～16:25	パネルディスカッション 「青少年の問題行動とどう向き合うか ～学校や地域の役割～」	コーディネーター 金沢大学人間社会研究域人間科学系准教授 原田 克己 パネリスト 県警少年サポートセンター係長 上杉 喜美恵 美川HELLO会議会長 宮川 靖 金沢大学BBS会 代表 大堀 晴香 金沢大学BBS会副代表 福村 さやか
16:25～16:30	閉会挨拶	県立生涯学習センター館長 土室 完

#### 事業の評価(成果・課題)

基調講演、パネルディスカッションでは、「青少年の問題行動」にそれぞれの立場で取り組みを進めている方からの現状分析や実践について話を聞くことができ、学校・地域との連携の重要性を再認識できる機会となった。一方、質疑応答の時間を確保したが、十分とはいえない面も見られた。もう少し論点を絞った話し合いを投げかけるて行くことを検討していきたい。

## (2) 生涯学習・社会教育担当者等研修

### 趣 旨

県内の市町及び社会教育施設等の生涯学習・社会教育担当職員等を対象に、「絆づくりと活力あるコミュニティの形成に向けて」をテーマに、現状と課題を見つめ、これからの生涯学習による地域社会づくりの推進に必要な職員としての資質の向上を図る。

### 主 催

金沢大学社会教育研究振興会、金沢大学地域連携推進センター、石川県教育委員会

### 対象・定員

市町教育委員会生涯学習・社会教育担当職員、市町公民館職員

### 会 場

石川県行政庁舎1102会議室

### 参加者数

35名

### 期 日

平成24年7月4日(水) 10:00～16:00

### 日 程

日 時	内 容	講 師
10:00～10:10	開会挨拶	石川県教育委員会生涯学習課課長 坂井 芳子
10:10～12:00	基調講演 「学びによる絆づくりと 社会教育職員の働き」	公益財団法人奈良市生涯学習財団職員 佐野 万里子
13:00～15:30	リアル熟議「絆づくりと活力あるコミュニティの形成に向けて」	
15:30～15:55	全体講評	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重
		公益財団法人奈良市生涯学習財団職員 佐野 万里子
15:55～16:00	閉会挨拶	金沢大学地域連携推進センター教授 浅野 秀重

### 事業の評価(成果・課題)

基調講演は、現場の職員が実際に取り組んでいる活動に基づいた内容であったことから、参加した公民館職員にとっては大変好評であった。リアル熟議は、参加者に予め資料提出を求めるとともに、各グループの進行役とは事前に打ち合わせをしたことなどにより、各グループともテーマに沿って充実した話し合いが行われた。

### (3) 教育事務所管内別生涯学習研修会

#### 趣 旨

教育事務所管内ごとに研修の機会を設け、市町の生涯学習担当者、公民館職員等生涯学習行政関係者の実務能力等の力量を高め、県内の生涯学習の振興に寄与する。

#### 主 催

金沢大学社会教育研究振興会、金沢大学地域連携推進センター、石川県立生涯学習センター、市町教育委員会等

#### 対 象

市町生涯学習・社会教育担当者、公民館職員等

#### 日 程

教育事務所	日時	内 容 等	参加者数
小松	10月 9日(火) 9:30～16:00	会場:能美市寺井地区公民館 講演「ファシリテーター入門～効果的な話し合いの進め方を学ぼう～」 発創デザイン研究室 代表 富永 良史	25 人
中能登	11月 8日(木) 10:00～16:00	会場:ラピア鹿島ミュージックホール 講演「スキルアップ! コミュニケーション～『聞く力』から『話す力』まで～」 宇都宮大学生涯学習教育研究センター 准教授 佐々木 英和	29 人
金沢	11月22日(木) 13:30～15:10	会場:県行政庁舎11階1104会議室 講演「インターネットを活用した公民館における情報発信」 福井市社北公民館 主事 田中 典子	38 人
奥能登	2月20日(水) 10:00～15:30	会場:生涯学習センター能登分室講義室 講演「地域づくりのためのコーディネート術実践講座～学校・家庭・地域の連携の推進～」 ライフデザイン研究所FLAP 代表 岩木 啓子	48 人
合計			140 人

#### 事業の評価(成果・課題)

各地区の要望を受け、より実践的な内容の研修会を実施したところ、大変熱心に受講いただき、有意義な会となった。今後も、実務能力を高める内容としていくとともに、地区ごとの情報交換の場としても活用を図っていきたい。



#### (4) 県民映像カレッジ

##### 趣 旨

ビデオ撮影および編集技術の習得・向上を通じ、映像に親しむ生涯学習活動の推進を図る。

##### 主 催

石川県視聴覚教育協議会

##### 共 催

石川県立生涯学習センター・石川県社会教育協会

##### 対象・定員

一般県民 ・基本コース15名 ・編集コース8名

##### 会 場

石川県立生涯学習センター

##### 日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講師名	参加人数 (延べ数)
1	6月8日(金)・15日(金) 22日(金)・29日(金) 7月6日(金)・13日(金) 13:30～16:00	基本コース	生涯学習センタービデオクラブ会員	70 人
2	10月11日(木)・18日(木)・ 25日(木) 11月 8日(木)・15日(木) 13:30～16:00	編集コース	〃	37 人
計				107 人

##### 事業の評価(成果・課題)

参加者は非常に熱心に受講し技能習得をしており、今後この成果が様々な場所で発揮されることが期待される。

なお、パソコンを使ったビデオ編集技術習得の需要は高く、「基本コース」においても、編集技術習得目的の受講者が多かった。また「編集コース」においては定員の倍近い申し込みがあり、受講できなかった申込者が多くいた。そのため、選に漏れた申込者に再度受講のチャンスが与えられるような仕組みの検討が必要である。

#### (5) ICT活用講座

##### 趣 旨

ICT等情報技術革命における教育メディア関連の課題について、その対応策・利用方法等を習得することを旨とする。

##### 主 催

石川県視聴覚教育協議会

##### 共 催

石川県立生涯学習センター

##### 対象・定員

公民館、図書館、各種団体職員等 14名

##### 会 場

石川県立生涯学習センター

##### 日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講師名	参加人数 (延べ数)
1	8月28日(火)・29日(水) 10:00～15:00	2日でできる！ 初歩からのブログ活用術	officeアシスタ 山川 広美	28 人

##### 事業の評価(成果・課題)

県内各地の公民館職員等を対象に、ブログの活用事例、簡単な開設方法、記事の作成方法等の講習を受けた。参加者からは、公民館から地域への広報活動にブログを役立てられると好評であった。今後はより多くの方に参加していただけるよう、実施時期の検討を行い、今後ともブログに触れる機会を提供し、ブログ活用に関する基本的な技術の習得を目指していきたい。

(6) 視聴覚セミナー

趣 旨

視聴覚教育や情報技術の動向について学ぶとともに、市町相互の連携を図る。

主 催

石川県視聴覚教育協議会

共 催

石川県立生涯学習センター

対象・定員

各市町教育委員会視聴覚教育担当職員及び一般県民 50名

会 場

本多の森庁舎会議室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講師名	参加人数
1	6月7日(木) 15:40～16:40	知識基盤社会における視聴覚教育の課題 -メディアリテラシーの中核としての画像リテラ シーの育成-	金沢星稜大学人間科学部 教授 岡部 昌樹	26人

事業の評価(成果・課題)

具体的な事例をとおして、最新の情報技術を、視聴覚教育の推進に役立てる方策について、学ぶことができた。技術のみではなく、その技術をいかに活用するかが実務担当者にとって重要な課題であり、その点について学ぶことができるセミナーを今後も継続していく必要がある。

(7) 平成24年度(第43回)いしかわビデオ作品コンクール

趣 旨

生涯学習の場で実際に役立つ視聴覚教材の自作活動を促進し、併せて県民の映像文化への関心と制作技術の向上を図る。

主 催

石川県視聴覚教育協議会

共 催

石川県教育委員会

応募資格

県内に在住もしくは勤務する個人またはグループ

応募期間

平成24年12月1日(土)～平成25年2月1日(金)

応募規定及び表彰

応募規定 教材部門 ・ 小学校、中学校、高等学校等で活用する教材  
・ 公民館等の生涯学習施設で活用する教材

一般部門 ( 以外の作品全て)

表彰 各部門に最優秀賞、優秀賞、奨励賞の表彰を行う。  
また、最優秀賞には、石川県教育委員会賞を授与する。

審査及び表彰式

審査会 平成25年2月15日(金) 13:30～16:30

表彰式 平成25年3月 5日(火) 15:00～16:30

審 査 員

棒田 邦夫(金沢学院大学教授) <審査員長> 勝田 敏夫(メディアアドバイザー)

今村 昌史(県生涯学習課社会教育担当) 土室 完(石川県立生涯学習センター館長)

応募作品数

教材部門…………… 4点 一般部門……………16点 計 20点

審査結果及び表彰者氏名

教材部門	一般部門
最優秀賞 及び 石川県教育委員会賞 涙 宿谷 昭之助	最優秀賞 及び 石川県教育委員会賞 県工かるた 石川県立工業高等学校放送部
優秀賞 及び 石川県公民館連合会賞 記念誌づくりに挑む 金沢市城南公民館	優秀賞 及び 石川県社会教育協会賞 御願神事(竹割りまつり) 生涯学習センタービデオクラブ
奨励賞(2点) 生きる 小松市立国府中学校保健委員会 金沢カレーの作り方 石川県立工業高等学校放送部	奨励賞(4点) 若衆の絆 高島 良夫 櫻生水 小林 陽治 やっぱり桜はスゴイ! 小屋 忠男 もうひとつの我が家 藤平田 友市

事業の評価(成果・課題)

平成24年度は、前年度に比べ応募点数が16点減った。特に教材部門の応募が17点から4点へと激減した。

課題としては、教材部門作品を授業や講座に活用できるものが少なく、作品づくりについての助言等ができるような機会をつくる必要がある。

(8) 視聴覚いしかわ(会報)

石川県視聴覚教育協議会の事業として、会報第9号を発行。

発行日・号数	巻頭言	巻頭言執筆者
3月1日(金) 第9号	知識基盤社会における視聴覚教育の課題(メディアリテラシーの中核としての画像リテラシーの育成)	金沢星稜大学 人間科学部 教授 岡部 昌樹

(9) 自主サークル

サークル名	活動内容
生涯学習センタービデオクラブ	毎月第2土曜日(13:00~16:30)月例会(作品鑑賞等)

## 生涯学習センター能登分室

### 1 講座事業

#### (1) いしかわを知る講座

##### 趣旨

石川の歴史、文化、自然、産業等について、より深く学ぶことで郷土に対する理解と愛着を深め、心豊かな生活の創造を目指す。

##### 対象・定員

一般 各40名×6回=240名

##### 会場

石川県立生涯学習センター能登分室

##### 日程

番号	日時	内容(演題)	講師名	参加人数
1	6月12日(火) 13:30~15:30	能登の海草	のと海洋ふれあいセンター普及専門員 池森 貴彦	28人
2	6月26日(火) 13:30~15:30	いしかわの料理	全日本司厨士協会北陸地本県本部顧問 浦 澄男	25人
3	7月18日(水) 13:30~15:30	白山の魅力 - 白山の生きものと火山 -	白山自然保護センター研究主幹 東野 外志男	21人
4	8月 2日(木) 13:30~15:30	大江戸単身赴任事情	北陸大学 教授 長谷川 孝徳	23人
5	8月20日(月) 13:30~15:30	身近な薬草とその利活用の知恵 - 知って得する植物雑話 -	近畿大学薬学部薬用植物園キュレーター 尾垣 光治	30人
6	8月28日(火) 13:30~15:30	能登の北前船	輪島市文化財保護審議会委員 左古 隆	25人
合計				152人

##### 事業の評価(成果・課題)

「能登の海草」「身近な薬草」の2講座に実習を取り入れるなどの工夫を行ったが、すべての講座において定員を下回った。次年度は興味・関心の高い内容の講座を設定したい。

#### (2) 能登文化講座

##### 趣旨

地域住民の多様な学習ニーズに対応して、著名な講師を招聘し、専門性の高い生涯学習の場を提供する。併せて能登空港のさらなる賑わい創出を図る。

##### 対象・定員

一般 150名

##### 会場

石川県立生涯学習センター能登分室

##### 日程

番号	日時	内容(演題)	講師名	参加人数
1	7月7日(土) 13:30~15:00	崑ちゃんのいま幸せでっか!	俳優 大村 崑	290人

##### 事業の評価(成果・課題)

能登空港賑わい創出実行委員会と共催、奥能登社会教育振興会の後援のもと、講師が著名で喜劇界の重鎮であり、身近なテーマと巧みな話術、庶民的なキャラクターとが相俟って参加者が定員を大幅に超え笑いが絶えず盛況だった。

### (3) 古文書解読入門講座

#### 趣 旨

古文書への関心を高め親しみ、古文書解読講座の入門編として基礎を学ぶ。

#### 対象・定員

一般 20名

#### 会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

#### 日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師 名	参加人数
1	9月4日(火) 18:00～19:50	古文書解読の基礎講座	門前町郷土史研究会員 大倉 克男	28人
2	9月11日(火) 18:00～19:50	古文書解読の基礎講座	輪島市文化財保護審議会委員 左古 隆	31人
3	9月18日(火) 18:00～19:50	古文書解読の基礎講座	輪島地方史研究会代表 高山 文雄	29人
合 計				88人

#### 事業の評価(成果・課題)

新規講座で人気があり定員の1.5倍の受講者を受入れた。続く古文書解読講座への基礎を学習する講座で熱気が感じられ、全員次の古文書解読講座へ進んだ。

### (4) 古文書解読講座

#### 趣 旨

地域史の調査及び研究に必要な古文書の解読、並びに整理や保存に関する知識や技能の習得を目指す。

#### 対象・定員

一般 30名

#### 会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

#### 日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師 名	参加人数
1	9月25日(火) 18:00～19:50	古文書解読講座	加能地域史研究会員 木越 祐馨	29人
2	10月2日(火) 18:00～19:50	古文書解読講座	門前町郷土史研究会員 大倉 克男	32人
3	10月9日(火) 18:00～19:50	古文書解読講座	門前町郷土史研究会員 大倉 克男	31人
4	10月16日(火) 18:00～19:50	古文書解読講座	加能地域史研究会員 木越 祐馨	31人
合 計				123人

#### 事業の評価(成果・課題)

地域の旧家や寺院に所蔵する古文書を教材として使い、身近な郷土の昔を知る内容であり、前に入門講座を設けたことから、分かり易く盛況であった。

(5) 能登陶芸教室

趣 旨

ろくろによる成形・釉薬がけ・焼成などの陶芸体験を通じて、ものづくりの喜びを実感すると同時に、技術の向上と心豊かな生活を目指す。

対象・定員

一般 15名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師 名	参加人数
1	7月 2日(月) 13:30～16:30	成 形	珠洲焼 伏見窯 坂本 一郎	14人
2	7月 3日(火) 13:30～16:30	成 形	"	15人
3	7月17日(火) 13:30～16:30	素 焼	"	13人
4	8月 1日(水) 13:30～16:30	釉 薬	"	15人
5	8月 8日(水) 13:30～16:30	焼 成	"	15人
合 計				72人

事業の評価(成果・課題)

以前からの受講者は技術レベルが向上し、優れた作品を仕上げた。初めての参加者の割合が多く、先輩の助けと、講師の丁寧な指導を受け、楽しい雰囲気の中で講座が行われた。

(6) あすなる悠々塾in能登

趣 旨

生涯学習活動をとおして、学んだ成果を生かして講座の講師となる機会を提供し、その成果が社会に生かされることを目指す。

対象・定員

一般 20名×6回=120名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師 名	参加人数
1	6月14日(木) 13:30～15:00	ふるさとの俗地名	大倉 克男	17人
2	7月12日(木) 13:30～15:00	人生とボランティア活動	和田 玉昭	18人
3	9月13日(木) 13:30～15:00	相手に響く言葉のチカラ	宮本 美奈子	16人
4	10月11日(木) 13:30～15:00	東日本大震災から学ぶ	木下 千鶴	13人
5	11月 1日(木) 13:30～15:00	穴水町山間集落の歴史	江下 文吉	25人
6	11月27日(火) 13:30～15:00	石川県のエビ・カニ類	本尾 洋	12人
合 計				101人

事業の評価(成果・課題)

新規講座で、新鮮な内容・視点の講座が多く、受講者には好評だった。地元の講師が半数しかいないため、新たな人材を発掘し増やしたい。

(7) 特別記念映画会(シネマ・アフタヌーンin能登)

趣 旨

名作映画を上映し、シニア世代を中心として生涯学習の機会を提供する。

対象・定員

一般 40名×4回=160名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	6月28日(木) 13:30~15:30	雨月物語	48人
2	7月26日(木) 13:30~15:30	麦秋	56人
3	9月27日(木) 13:30~15:30	0(ゼロ)からの風	37人
4	10月25日(木) 13:30~15:30	西鶴一代女	34人
合 計			175人

事業の評価(成果・課題)

地区老人会の団体参加もあって前年度を上回る多数の参加者になった。今後も魅力ある作品提供に努めたい。

(8) ビデオ教養講座(いしかわの文化を訪ねる)

趣 旨

映像をとおしてふるさと石川の歴史や文化について学習し、郷土への理解と愛着を深める。

対象・定員

一般 20名×10回=200名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	参加人数
1	6月 5日(火) 13:30~15:30	芋掘藤五郎 平家物語 加賀騒動 峠伝説	13人
2	6月19日(火) 13:30~15:30	義経北国落ちと白山 八百比丘尼伝説 お小夜伝説 加賀羽二重	12人
3	7月 4日(水) 13:30~15:30	いのちの器 大社焼 蘭草が命 小松表の魅力 暗闇の贅沢 和ろうそく 摩訶不思議 郷土玩具	9人
4	7月24日(火) 13:30~15:30	ごすって何? 穴水の木工芸 手織りの里 白峰の牛首紬 金沢の和楽器 三絃 大地の鼓動 浅野太鼓	10人
5	8月 7日(火) 13:30~15:30	百万石の技 加賀象嵌 心を結ぶ 加賀水引 夏の装い 能登上布 夜空に煌めく 能登花火	7人
6	9月 5日(水) 13:30~15:30	命のさけび 雨乞いの伝説 かなざわ地蔵物語 加賀能登ヒーロー・ヒロイン伝説 八百比丘尼 能登行脚	9人
7	9月19日(水) 13:30~15:30	金沢のことばあそび 能登の奇祭 祈りの音 能登しごとうた うたい継ぐわらべ歌	10人
8	10月 4日(木) 13:30~15:30	能登の調味料 いしり こだわりの加賀麩 いしかわ飴紀行 加賀野菜 能登野菜	9人
9	10月18日(木) 13:30~15:30	自然との対話伝承の技 酒造り 能登杜氏 辻口博啓が語る 加賀”茶の湯”物語 彫りが生み出す加飾の美 輪島塗沈金	8人
10	11月 6日(火) 13:30~15:30	未来に華ひらく百万石の意匠美 加賀お国染 兼六園 名園記 交響曲第7番 イシカワパワフレーズ	9人
合 計			96人

事業の評価(成果・課題)

昨年度までは世界遺産や本邦の文化遺産が内容の4分の3を占めていた、本年度は本県の歴史・文化等に絞った為に参加者数が減ったが、ふるさと教育は重要であり、今後も魅力ある作品の提供を含めて講座の充実に努めたい。



(9) 特別記念子ども映画会(夏休み子ども映画会in能登)

趣 旨

子ども向けの名作映画やビデオを鑑賞し、子供たちの豊かな心の育成を図る。

対象・定員

子ども・保護者 40名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	参加人数
1	8月 4日(土) 13:30~15:30	ドラえもん のび太の日本誕生 ハローキティのかぐや姫	62人

事業の評価(成果・課題)

人気アニメ作品の上映で、幼児から小学生、中学生の幅広い参加者があり、昨年度より上映回数が1回減ったが参加者総数は変わらず好評だった。今後も魅力ある作品を提供していきたい。

(10) 夏休み子ども陶芸教室

趣 旨

粘土で形を作り、色を付けて焼き上げ、世界に一つしかない作品を手作りする体験をとおりて創作の喜びを実感し、豊かな心を育む。

対象・定員

小学生・中学生 20名

会 場

石川県立生涯学習センター能登分室

日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師 名	参加人数
1	7月23日(月) 13:30~16:30	成 形	石川県立能登高等学校 教諭 井上 正浩	14人
2	8月10日(金) 13:30~16:30	色 つ け	"	14人
3	8月22日(水) 13:30~16:30	鑑 賞 会	"	12人
合 計				40人

事業の評価(成果・課題)

定員割れになったが、家族連れの参加者もあり和気藹々で共同作業も見受けられた。講師の指導も、懇切丁寧かつ熱心であり、子どもの意欲を引き出し楽しい時間を過ごした。

## 2 他の機関・団体との共催講座

### (1) 大人の料理教室

#### 趣 旨

旬の山菜を美味しく食べる色々な調理方法を学び、自然の恵に感謝し、豊かな食生活の一助とする。

#### 主 催

石川県立生涯学習センター

#### 共 催

石川県社会教育協会

#### 対象・定員

一般 15名

#### 会 場

石川県立生涯学習センター能登分室(調理室)

#### 日 程

番号	日 時	内 容	講 師 名	参加人数
1	6月 7日(木) 10:00～13:00	山菜料理	山菜アドバイザー 谷口 藤子	15人

#### 事業の評価(成果・課題)

申込初日に定員に達する人気講座で、身近な料理を試食しあい、楽しい雰囲気の中で講座が進み、参加者からは大変好評であった。

### (2) お菓子づくり教室

#### 趣 旨

家庭で洋菓子の手作りを楽しむ為に、クリスマスを控え、ケーキの作り方を学ぶ。

#### 主 催

石川県立生涯学習センター

#### 共 催

石川県社会教育協会

#### 対象・定員

小学校5年生以上の一般 15名

#### 会 場

石川県立生涯学習センター能登分室(調理室)

#### 日 程

番号	日 時	内 容	講師名	参加人数
1	12月8日(土) 10:00～13:00	ブッシュ・ド・ノエル、クリスマスクッキー	地域活動栄養士 沖崎 美子	15人

#### 事業の評価(成果・課題)

子どもの参加者は少なかったが、互いにコミュニケーションをとりながら、和気藹々の中調理が進み、家族の愛情が籠もった手作り菓子が待ち遠しい講座となった。

### (3) サンドブラスト体験教室

#### 趣 旨

能登空港マスコットキャラクター「スカイのっぴー」と季節折々の図柄をガラス(コップ)に彫刻し、ものづくりの喜びを実感し、あわせて能登空港への親しみを深める。

#### 主 催

能登空港賑わい創出実行委員会

#### 共 催

石川県立生涯学習センター

#### 対象・定員

一般(各50名×12回=600名)

#### 会 場

能登空港 能登の旅情報センター前

#### 日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	参加人数
1	4月 8日(日)	お花見のっぴー	120人
2	5月13日(日)	のっぴーと鯉のぼり	110人
3	6月10日(日)	のっぴーと雨宿り	130人
4	7月 8日(日)	のっぴーと天の川	440人
5	8月12日(日)	のっぴー海水浴	180人
6	9月 9日(日)	お月見のっぴー	552人
7	10月14日(日)	のっぴー空の運動会	140人
8	11月11日(日)	のっぴーモミジ狩り	90人
9	12月 9日(日)	のっぴーサンタ	90人
10	12月23日(日)	12ヶ月自由図柄	510人
11	1月13日(日)	のっぴーのお正月	100人
12	2月10日(日)	のっぴーと雪だるま	136人
13	3月10日(日)	のっぴーのひな祭り	80人
合 計			2,678人

実施日、毎月第2日曜日。時間帯は午前10時00分～午前12時00分  
午後 1時00分～午後 3時00分

#### 事業の評価(成果・課題)

可愛いキャラクターの日用品を作る楽しさから、毎回定員を大幅に超える参加者があった。特に親子連れの参加が多く、楽しく作業をし、出来映えに満足していた。また、旅行者の参加も多くみられ、能登空港の賑わいにもつながった。

### 3 能登分室利用状況

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
件数	22	23	38	57	61	60	50	68	66	53	44	39	61	620	
	23	25	31	70	84	76	64	76	84	62	42	51	56	721	
	24	23	37	66	63	72	66	50	64	62	33	44	59	639	
人数	22	485	1,743	1,649	2,184	2,427	1,510	2,400	2,270	2,328	1,962	1,325	2,232	22,515	
	23	771	836	1,941	3,367	3,214	1,446	2,608	2,844	2,878	894	1,833	1,944	24,576	
	24	438	1,062	1,907	2,255	2,415	1,296	1,463	2,138	2,269	713	1,387	1,675	19,018	
一日平均	件数	22	0.8	1.2	1.9	2.0	1.9	1.7	2.2	2.2	1.9	1.6	1.4	2.0	1.7
		23	0.8	1.0	2.3	2.7	2.5	2.1	2.5	2.8	2.2	1.5	1.8	1.8	2.0
		24	0.8	1.2	2.2	2.0	2.3	2.2	1.6	2.1	2.2	1.2	1.6	1.9	1.8
	人数	22	16.2	56.2	55.0	70.5	78.3	50.3	77.4	75.7	83.1	70.1	47.3	72.0	62.7
		23	25.7	27.0	64.7	108.6	103.7	48.2	84.1	94.8	102.8	31.9	63.2	62.7	68.3
		24	14.6	34.3	63.6	72.7	77.9	43.2	47.2	71.3	81.0	25.5	49.5	54.0	53.0

・平成15年5月6日開設。

・H24年度 3月までの利用状況(開館日数 359 日)

・利用件数 639 件 対前年比 11.4% (H23 721件)

・利用人数 19,018 人 対前年比 22.6% (H23 24,576人)

## 調査研究レポート

### 「県内公民館の事業・運営等に関する実態調査」の調査結果について

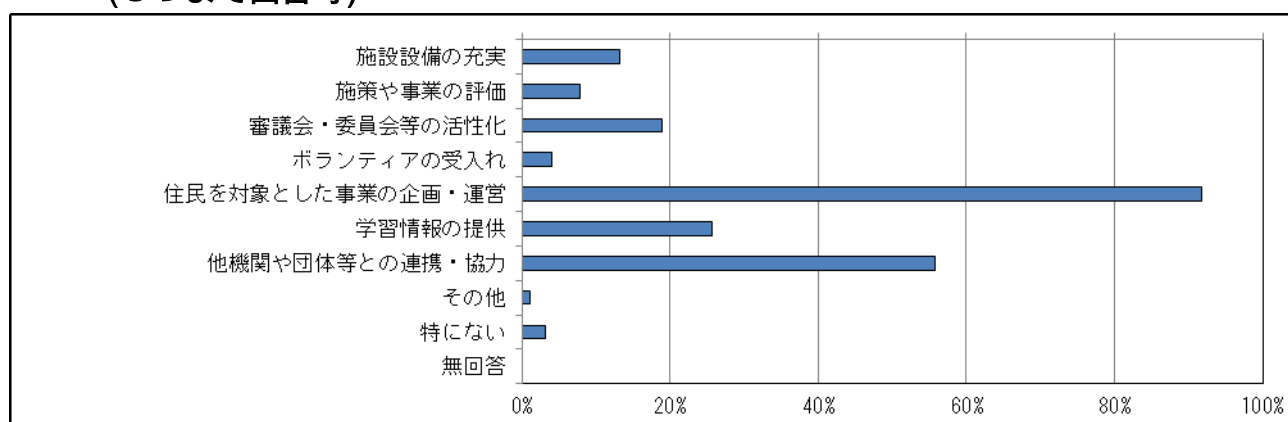
#### 1 はじめに

当センターは、金沢大学社会教育研究振興会及び同大学地域連携推進センターとともに、地域の学習拠点としての公民館事業のよりよい推進を図るため、県内の公民館を対象に、管理・運営や事業・講座の内容、職員の研修等に関する実態調査を行ない、平成25年3月に「県内公民館の事業・運営等に関する実態調査報告書」を発行した。本レポートは、この「報告書」の中から県内公民館の全体的な特徴についてまとめたものであり、詳細については「報告書」をご覧ください。

#### 2 「県内公民館の事業・運営等に関する実態調査」

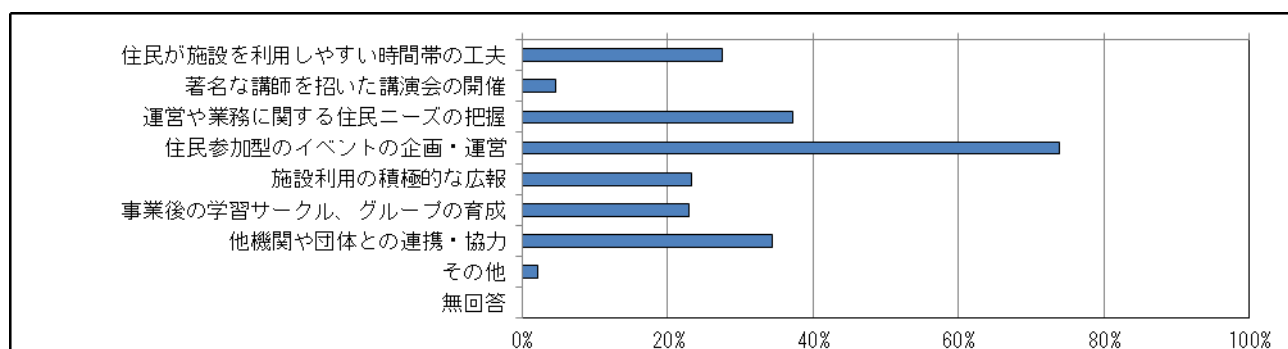
##### (1) 公民館の運営について

問 貴公民館の運営にあたり、重点的に取り組んでいることはどのようなことですか。  
(3つまで回答可)



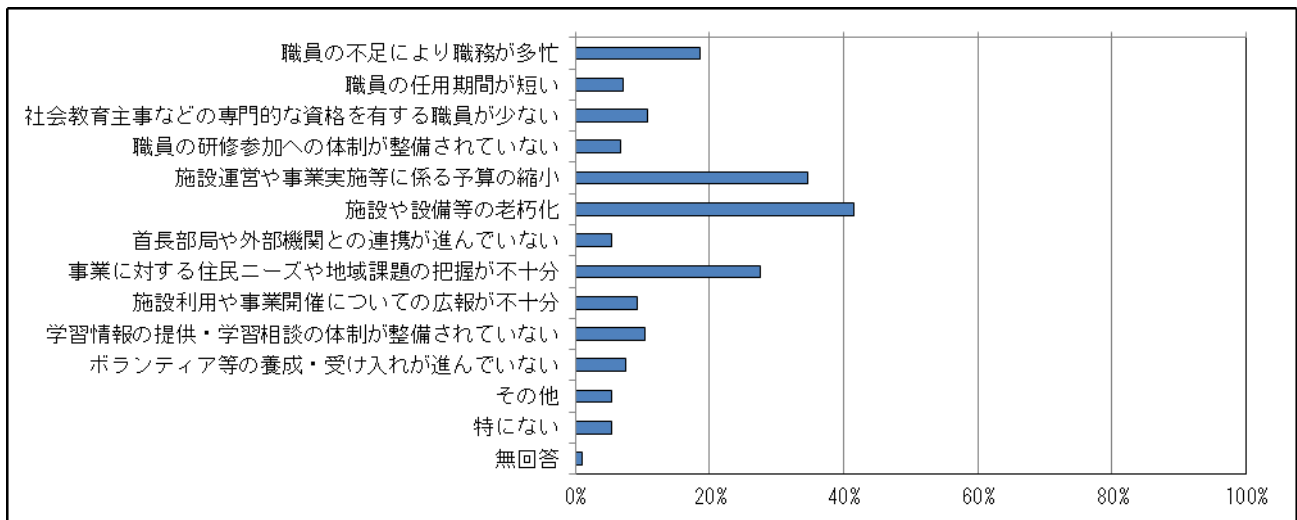
公民館の運営にあたり重点的に取り組んでいることについては、9割以上の公民館が「住民を対象とした事業の企画・運営」と回答しており、各公民館は、地域住民に対する魅力的な事業の企画・運営を最も重要な業務と捉え、地域住民への学習機会や交流の場を提供することにより、人づくり・地域づくりの拠点となることをめざしていることがうかがえる。また、約6割の公民館が他機関・団体等との連携・協力を積極的に行いながら、公民館運営に取り組んでいることがうかがえる。

問 貴公民館の利用促進にあたり、主に取り組んでいることはどのようなことですか。  
(3つまで回答可)



公民館の利用促進に向けては、7割以上の公民館が「住民参加型のイベントの企画・運営」と回答しているほか、「運営や業務に関する住民ニーズの把握」や、能登地区では「住民が施設を利用しやすい時間帯の工夫」との回答も高く、多様化する住民ニーズに対応するための取組が推し進められている。

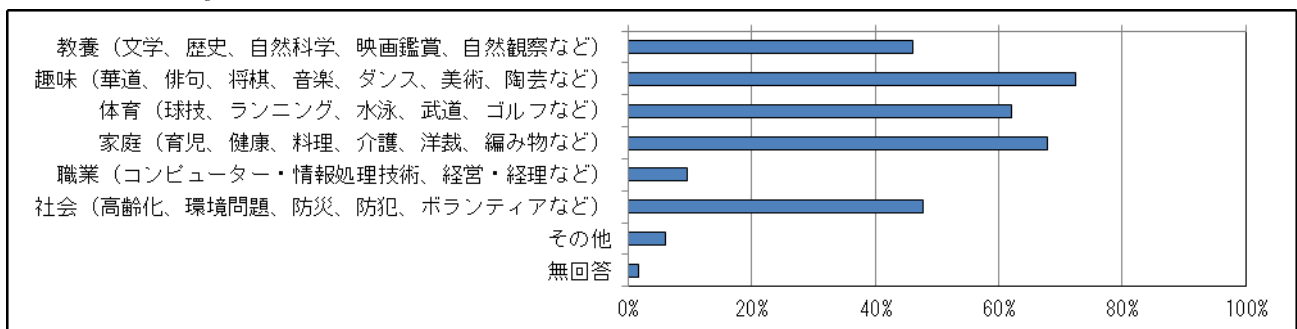
**問 貴公民館において、運営上の課題はありますか。(3つまで回答可)**



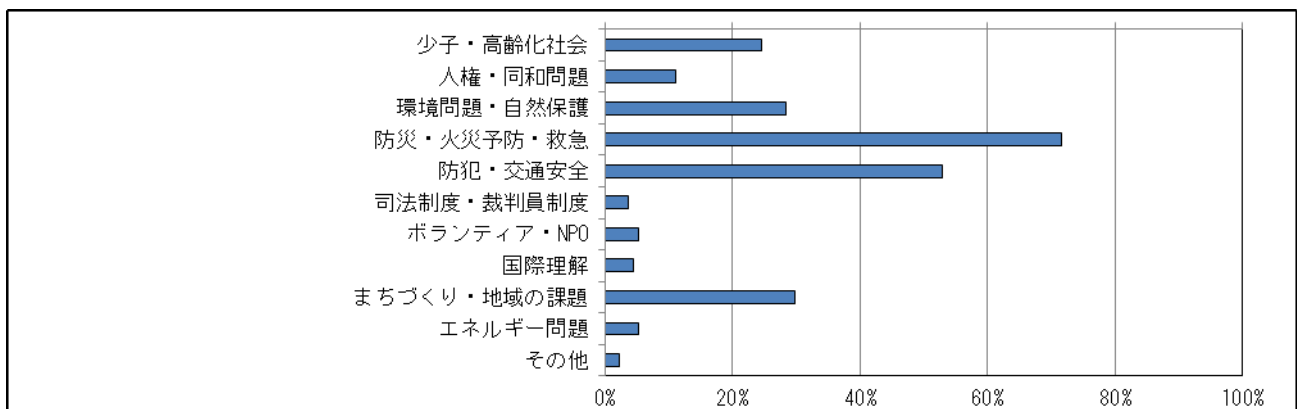
運営上の課題については、「施設や設備等の老朽化」「施設運営や事業実施等に係る予算の縮小」「事業に対する住民ニーズや地域課題の把握が不十分」などの回答率が高く、各公民館においては、様々な課題を抱えながらも公民館の運営を行っていることがうかがえる。

**(2) 住民を対象とした講座について**

**問 貴公民館では、地域住民を対象に、どのような内容の講座を実施していますか。(複数回答可)**



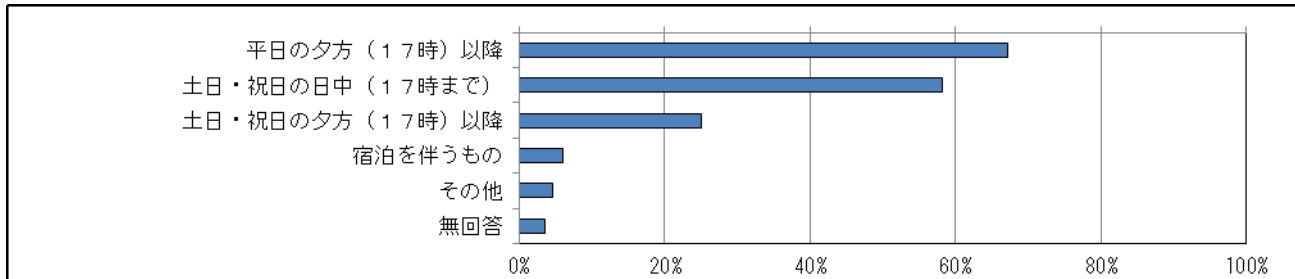
**問 前問で「社会」と回答した公民館において、具体的にどのような内容の講座を実施していますか。(複数回答可)**



地域住民を対象とした講座の内容については、4割～7割の公民館が「趣味」「家庭」「体育」「社会」「教養」と回答しており、多様な住民ニーズに対応して、幅広い分野での講座を実施している。ただ、平成20年の中央教育審議会答申で、「社会の要請」に応じた学習活動の充実が公民館に求められているが、「社会」と回答した公民館は4割強にとどまって

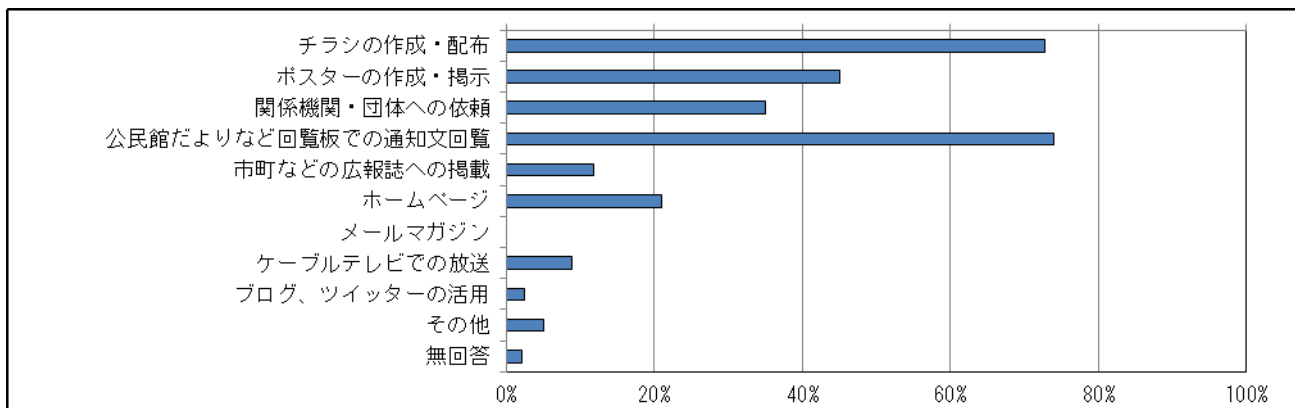
おり、その分野も「防災・火災予防・救急」「防犯・交通安全」等が高かったものの、「少子・高齢化社会」「環境問題・自然保護」「まちづくり・地域の課題」等については2割～3割にとどまっている。

**問 貴公民館では、地域住民を対象とした講座について、平日の日中以外ではどのような時間帯に行っていますか。（複数回答可）**



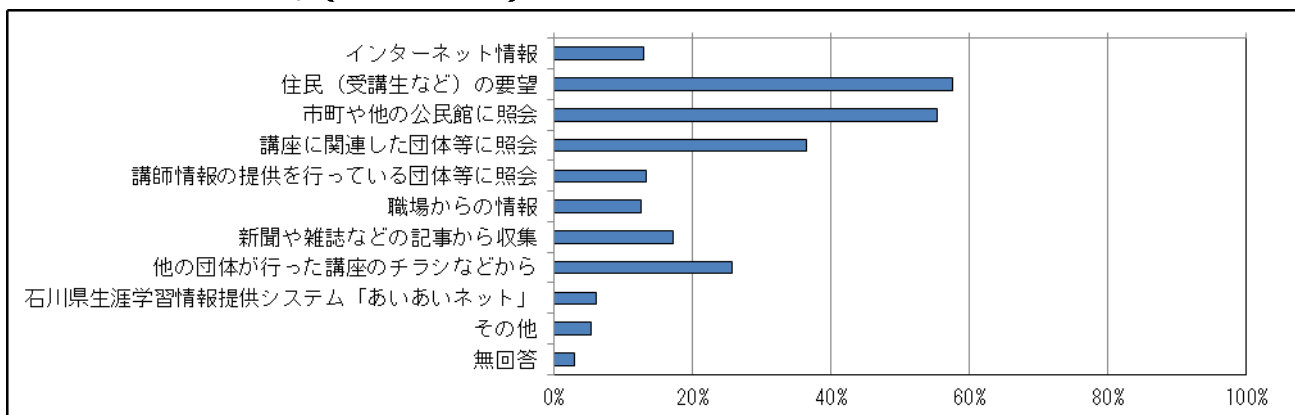
講座の実施時間帯については、6割以上が「平日の夕方以降」、5割以上が「土日・祝日の日中」に講座を実施するなど、地域住民が受講しやすい時間帯に配慮した工夫を行っている。

**問 貴公民館では住民を対象とした講座について、どのように学習情報の提供を行っていますか。（複数回答可）**



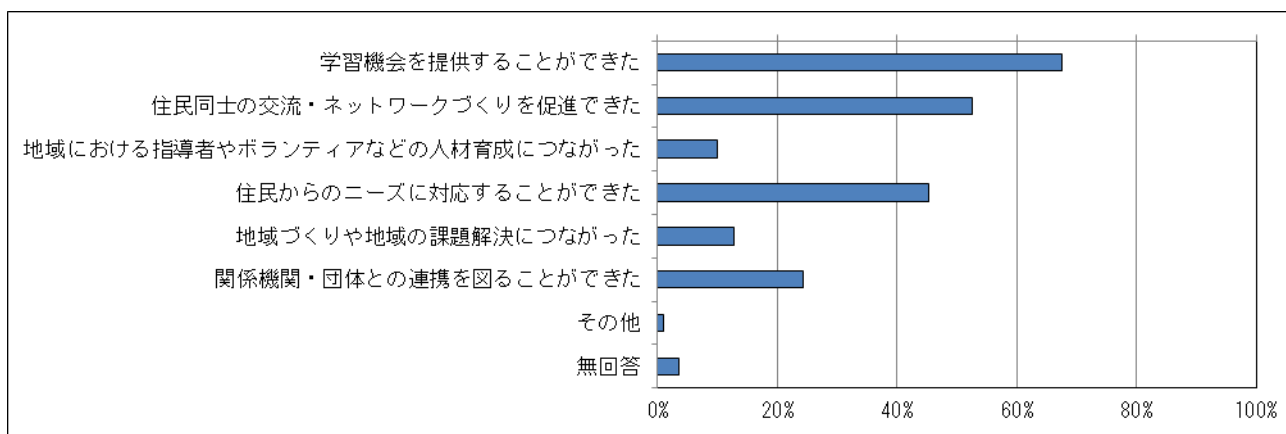
学習情報の提供については、「公民館だよりなど回覧板での通知文回覧」「チラシの作成・配布」「ポスターの作成・掲示」が上位を占めており、一般的な紙媒体が中心となっている。なお、パソコンやスマートフォン等の情報機器の普及に伴い、「ホームページ」「ブログ・ツイッターの活用」など、情報提供の方法を工夫している公民館も見られる。

**問 貴公民館では住民を対象とした講座について、どのような方法で講師の情報を入手していますか。（複数回答可）**



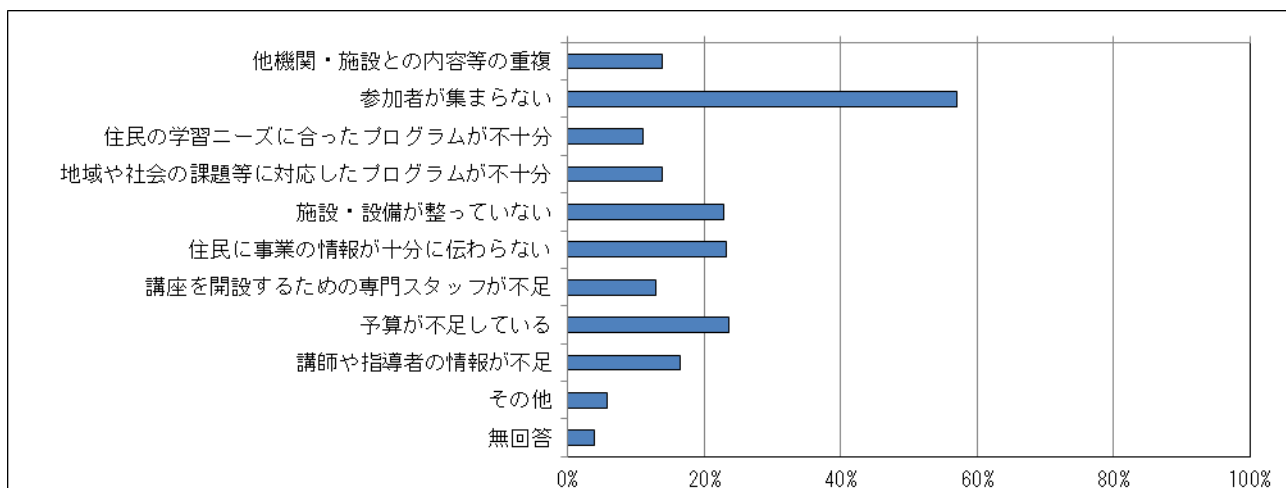
講師情報の入手については、5割以上の公民館が「住民(受講生など)の要望」「市町や他の公民館に照会」と回答するなど、住民ニーズを把握するとともに、市町や他の公民館との連携を生かした講師選定を行っていることがうかがえる。一方、石川県立生涯学習センターが提供している「石川県生涯学習情報提供システム『あいあいネット』」を活用している公民館は1割以下と低い。生涯学習センターとしては、より多くの公民館が「あいあいネット」を活用されるよう、その周知と内容の充実に、より一層努めることが必要である。

**問 貴公民館では住民を対象とした講座を実施して、主にどのような成果がありましたか。(3つまで回答可)**



講座実施の効果については、7割近くの公民館が「学習機会を提供することができた」、5割以上の公民館が「住民同士の交流・ネットワークづくりを促進できた」と回答しており、概ね良い評価を行っている。しかしながら、「地域における指導者やボランティアなどの人材育成につながった」「地域づくりや地域の課題解決につながった」との回答は低く、これらに向けた講座内容や実施方法などについて検討していくことも必要と思われる。

**問 貴公民館では、住民を対象とした講座を実施する際には、どのような課題がありますか。(3つまで回答可)**

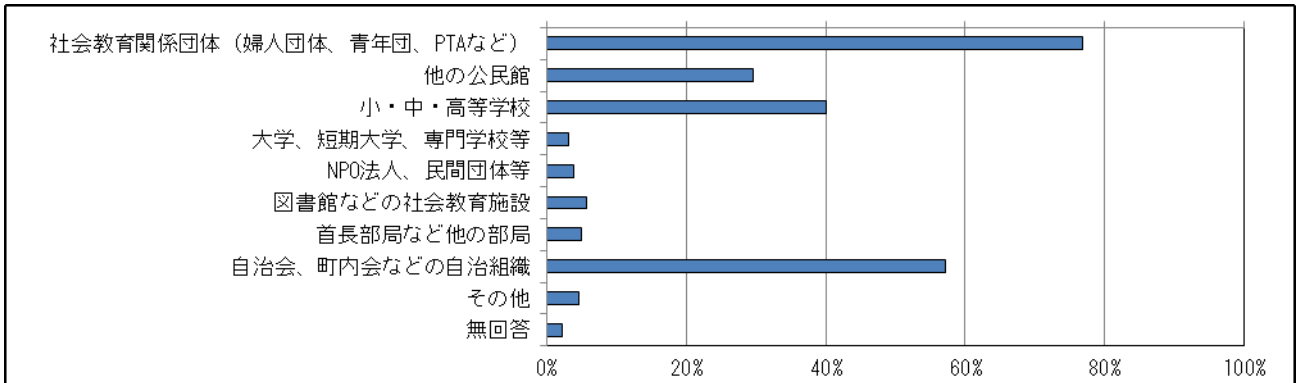


講座を実施する上での課題については、6割近くの公民館が「参加者が集まらない」と回答しており、各公民館で講座の企画・運営等について様々な工夫をしているものの、十分に功を奏していないことがうかがえる。その他、「予算が不足している」「住民に事業の情報が十分に伝わらない」「施設・設備が整っていない」など、多様な課題を抱えていることもうかがえる。



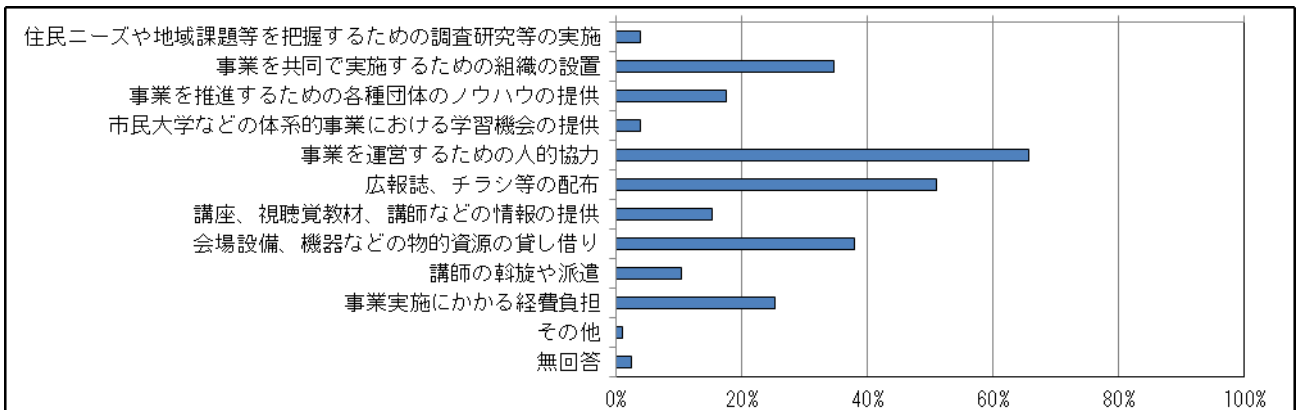
(3) 講座その他各種事業における他団体との連携・協力について

問 貴公民館では、講座その他各種事業を実施する際に、どのような機関・団体と連携・協力していますか。(複数回答可)



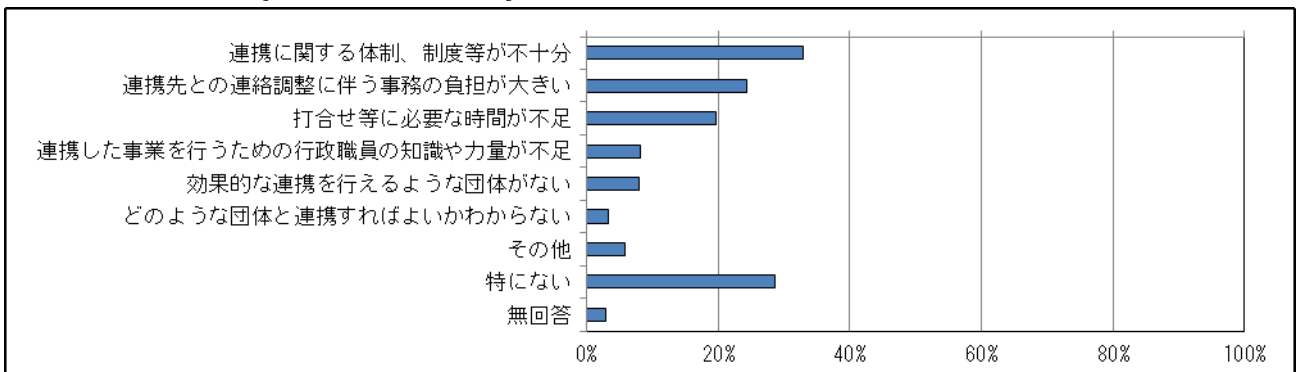
連携・協力している相手先については、8割近くの公民館が「社会教育関係団体(婦人団体、青年団、PTAなど)」、次いで「自治会、町内会などの自治組織」「小・中・高等学校」と回答しており、地域の社会教育関係団体や住民組織、学校との連携・協力が中心になっている。しかし、「大学、短期大学、専門学校等」の高等教育機関や「NPO法人・民間団体等」「首長部局など他の部局」などとの連携・協力はほとんどなされていない。

問 貴公民館では、他の団体とどのような連携・協力を行っていますか。(複数回答可)



連携・協力に係る内容については、5割以上の公民館では「事業を運営するための人的協力」「広報誌、チラシ等の配布」にとどまっており、「住民ニーズや地域課題等を把握するための調査研究等の実施」「事業を推進するためのノウハウの提供」「講師の斡旋や派遣」にまでは至っていない。

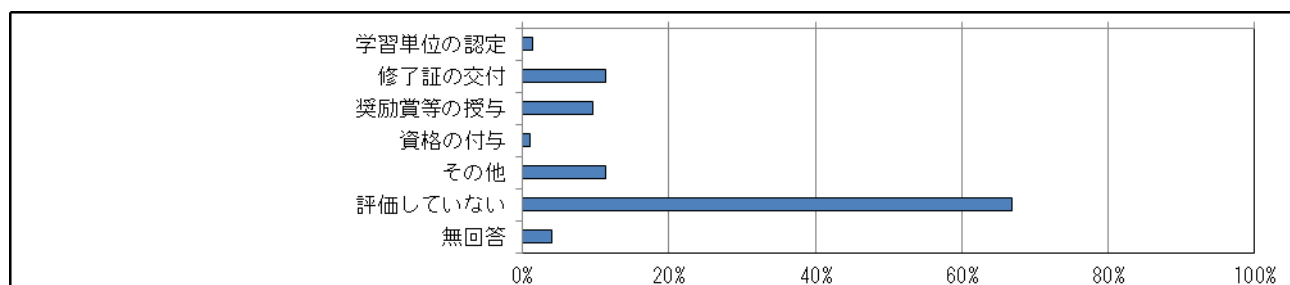
問 貴公民館では、他の団体との連携・協力において、どのようなことが課題となっていますか。(3つまで回答可)



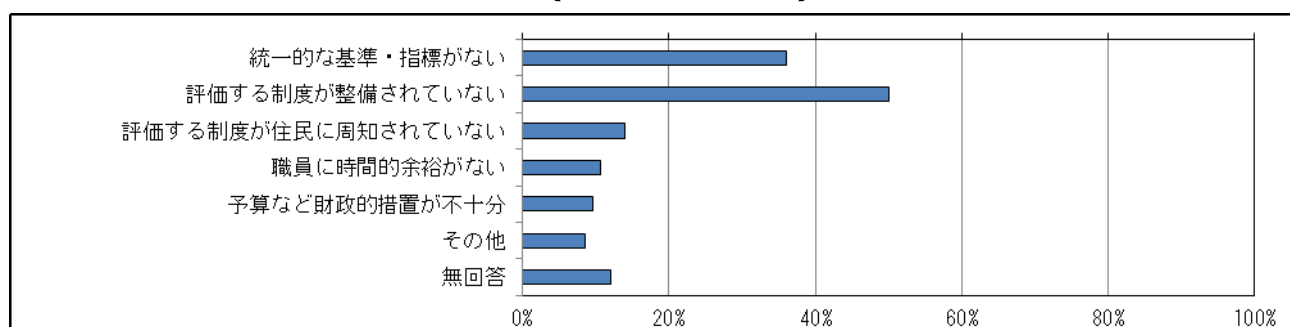
連携・協力する上での課題としては、3割以上の公民館が「連携に関する体制、制度等が不十分」と回答しており、その他「連携先との連絡調整に伴う事務の負担が大きい」「打合せ等に必要時間が不足」等の課題もあげられている。近年の様々な教育課題や行政課題がある中、多様化・高度化した地域住民のニーズに対応するためには、多様な関係者・関係機関と多方面において、積極的に連携・協力するための工夫がこれまで以上に求められている。

#### (4) 学習成果の評価・活用について

問 貴公民館の事業の修了者等に対して学習成果をどのように評価していますか。(複数回答可)

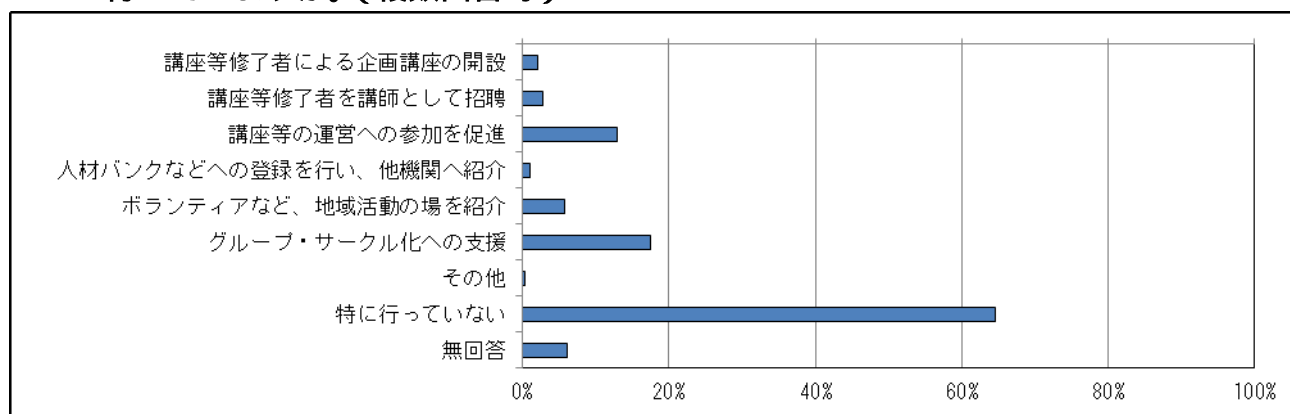


問 貴公民館の事業の修了者等に対して学習成果を評価するにあたり、課題となっているのはどのようなことですか。(3つまで回答可)

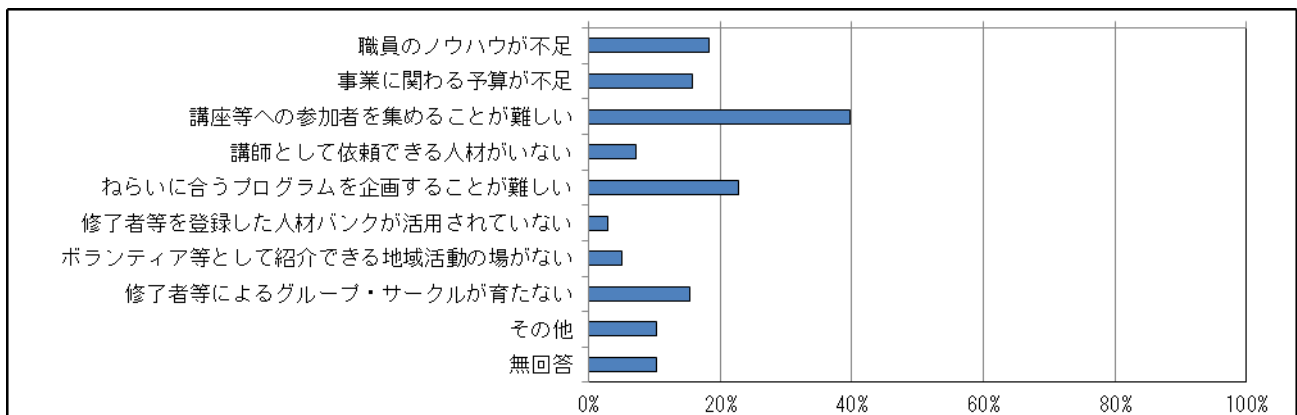


事業の修了者等に対する学習成果の評価については、1割程度の公民館が「修了証の交付」「奨励賞等の授与」と回答しているものの、6割以上の公民館が「評価していない」と回答している。これは、評価する上で、5割の公民館が「評価する制度が整備されていない」、4割近くの公民館が「統一的な基準・指標がない」という課題を抱えていることによるものと思われる。

問 貴公民館の事業の修了者等に対する学習成果の活用支援として、どのようなことを行っていますか。(複数回答可)



**問 貴公民館の事業の修了者等に対する学習成果を活用・支援する上での課題は何ですか。(3つまで回答可)**

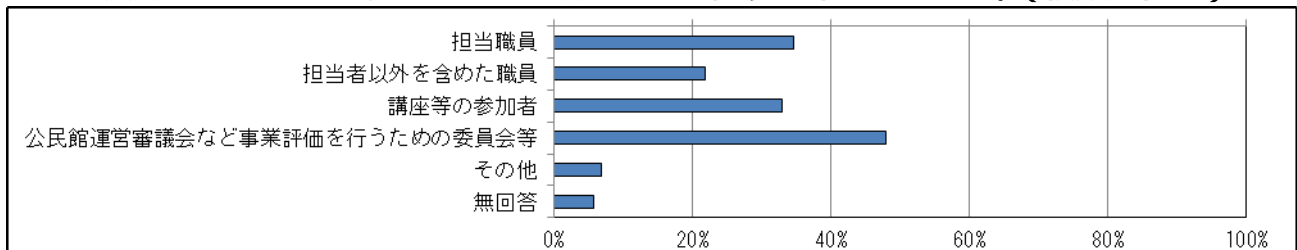


学習成果の活用支援については、2割前後の公民館が「グループ・サークル化への支援」「講座等の運営への参加を促進」を行っているものの、6割以上の公民館が「特に行っていない」と回答しており、事業の修了者に対して活用・支援の取組が進んでないことがうかがえる。これは、「講座等への参加者を集めることが難しい」「ねらいに合うプログラムを企画することが難しい」「職員のノウハウが不足」という課題を抱えていることによるものと思われる。

平成20年の中央教育審議会答申では、「各個人が学習した成果を社会に還元し、社会全体の持続的な教育力の向上に貢献する」といった『知の循環型社会』の構築が掲げられ、『石川の教育振興基本計画』においても「学習成果を生かした社会参加の促進」を方針の一つとしている。そのためにも、生涯学習の成果が評価され、幅広く活用されるためのプログラムの開発や効果的なシステムづくりなどが求められている。

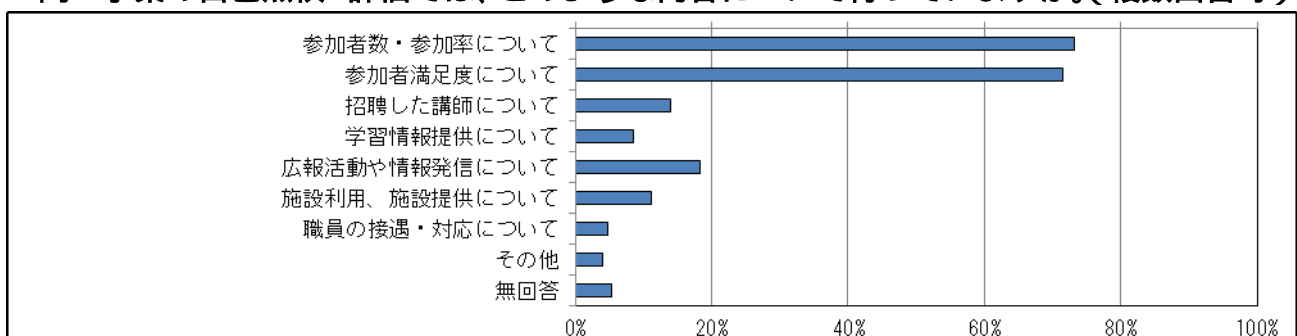
**(5) 事業の自己点検・評価について**

**問 貴公民館における事業の自己点検・評価を行う主体は何ですか。(複数回答可)**



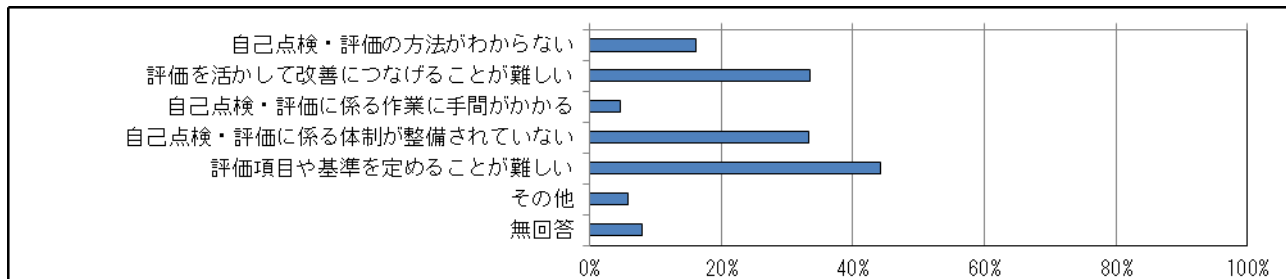
公民館における事業の自己点検・評価については、5割近くの公民館が「公民館運営審議会などの事業の評価を行うために組織された委員会等」で実施しているが、「担当者以外を含めた職員」が2割程度、「講座等の参加者」が3割程度にとどまっており、公民館組織全体で取り組んでいるところは少ない。

**問 事業の自己点検・評価では、どのような内容について行っていますか。(複数回答可)**



自己点検・評価の内容については、7割程度の公民館が「参加者数・参加率」「参加者満足度」を取り上げているが、「招聘した講師」「学習情報の提供」「施設利用、施設提供」「職員の接遇・対応」等の項目について取り上げている公民館は2割以下であり、事業全般に関する評価項目を有していない。

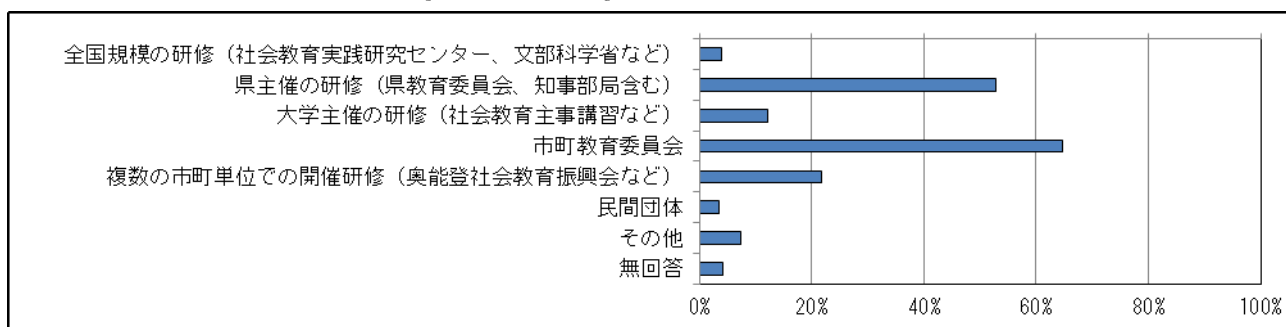
**問 事業の自己点検・評価を行う際の課題は何ですか。(3つまで回答可)**



自己点検・評価する上での課題としては、4割の公民館が「評価項目や基準を定めることが難しい」、次いで「評価を活かして改善につなげることが難しい」「自己点検・評価に係る体制が整備されていない」と回答している。今後、各公民館が事業の自己点検・評価を適切に行い、課題等を把握し、施設の運営の改善を図ることができるよう、基準の策定や体制の整備を図るための行政や大学等による支援が必要であると思われる。

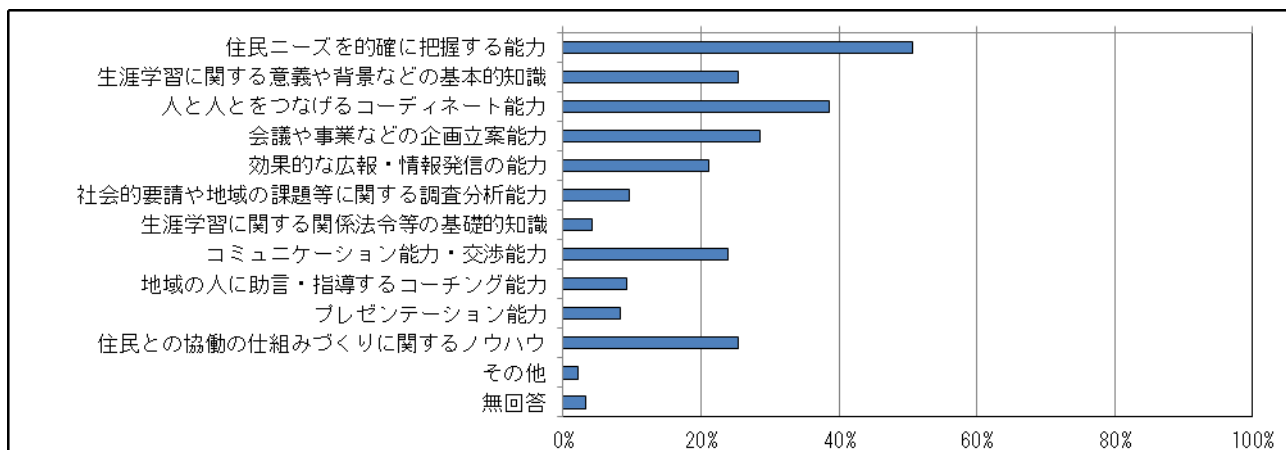
**(6) 公民館職員の研修について**

**問 貴公民館の職員を外部の研修に派遣するにあたり、その研修を主催した団体はどのようなところですか。(複数回答可)**

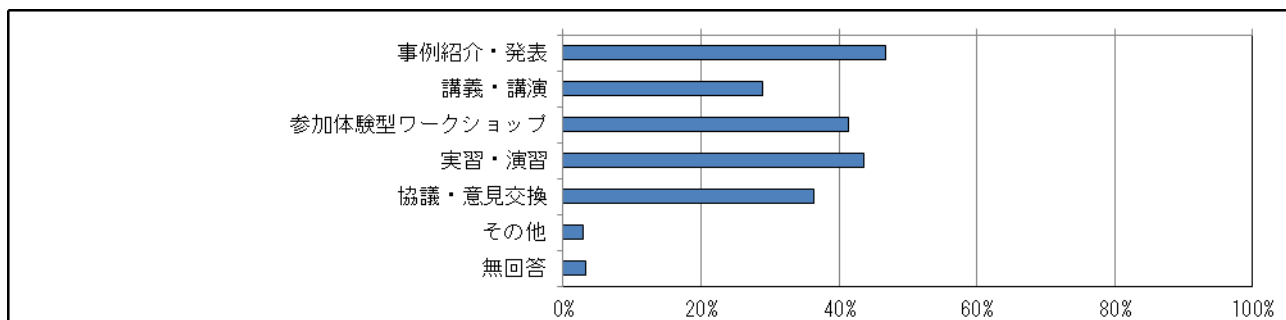


公民館職員の研修については、6割以上の公民館が「市町教育委員会」、5割以上の公民館が「県主催の研修」と回答しており、県や市町による研修会が重要な研修機会となっている。

**問 貴公民館の職員が特に身につけた方がよいと思われる資質・能力はどのようなことですか。(3つまで回答可)**

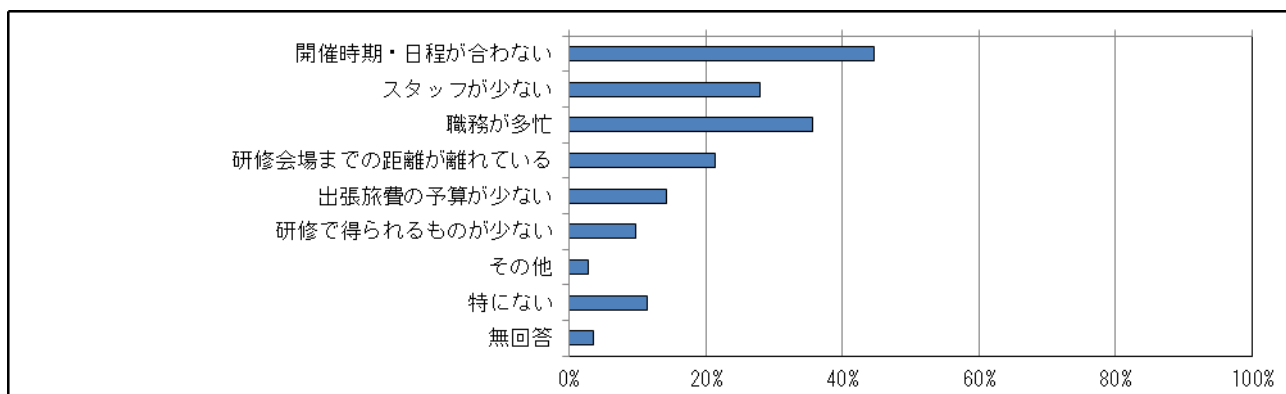


問 公民館職員研修について、どのような実施方法が望ましいですか。(複数回答可)



職員に求められる資質・能力については、「住民ニーズを的確に把握する能力」「人と人をつなげるコーディネート能力」「会議や事業などの企画立案能力」が上位を占めている。また、研修の望ましい実施方法については、4割以上が「事例紹介・発表」「実習・演習」「参加体験型ワークショップ」と回答しており、より実践的なテーマで、主体的に参加する研修が望まれていることがうかがえる。

問 外部の研修に参加する上での課題は何ですか。(3つまで回答可)



研修に参加する上での課題については、4割以上の公民館が「開催時期・日程が合わない」と回答し、次いで「職務が多忙」「スタッフが少ない」「研修会場までの距離が離れている」となっている。各公民館においては様々な課題を抱えているものの、地域の生涯学習を推進する上で公民館職員の資質向上は極めて重要であり、研修の必要性はますます高まると思われる。そのためにも、県・市町においては、より効果的な研修機会を工夫していくことが必要である。

(7) まとめ

今回の調査により、県内公民館の事業・運営等の実態を概ね把握することができた。市町生涯学習担当課及び各公民館におかれては、この調査結果を今後の生涯学習振興に関する施策の参考にしていただければ幸いである。

最後に、あらためて今回の調査にご協力いただいた方々に感謝いたします。

平成 2 4 年度  
**事業報告書**

---

平成 2 5 年 5 月 2 1 日発行  
編集・発行 石川県立生涯学習センター

〒920-0935

金沢市石引 4 丁目 1 7 番 1 号

石川県本多の森庁舎

TEL 076(223)9571 (代表)

FAX 076(223)9585

URL <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/shakyo-c/>



PC・スマートフォン用